

令和8年度

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果報告書

令和8年7月

武蔵野市

次のとおり、武蔵野市公の施設のモニタリング評価を行ったので報告する。

1 評価対象期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日（令和7年度）

2 評価対象施設等

No	対象施設	指定管理者	施設主管課
1	武蔵野市立武蔵野公会堂	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団	市民活動推進課
2	武蔵野市立武蔵野市民文化会館		
3	武蔵野市立吉祥寺美術館		
4	武蔵野市立松露庵		
5	武蔵野市立吉祥寺シアター		
6	武蔵野市立武蔵野芸能劇場	アクティオ株式会社	
7	武蔵野市立武蔵野スイングホール		
8	武蔵野市立かたらいの道市民スペース		
9	武蔵野市立武蔵野商工会館市民会議室（ゼロワンホール）	武蔵野商工会議所	産業振興課
10	武蔵野市立自然の村	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団	児童青少年課
11	武蔵野市立0123吉祥寺	公益財団法人 武蔵野市子ども協会	子ども子育て支援課
12	武蔵野市立0123はらっぱ		
13	武蔵野市立高齢者総合センター(社会活動センター)	公益財団法人 武蔵野市福祉公社	高齢者支援課
14	武蔵野市立高齢者総合センターデイサービスセンター		
15	武蔵野市立北町高齢者センター		
16	武蔵野市立北町高齢者センターコミュニティケアサロン		
17	武蔵野市桜堤ケアハウス	社会福祉法人 武蔵野	障害者福祉課
18	武蔵野市立みどりのこども館		
19	武蔵野市障害者福祉センター		
20	武蔵野市放課後等デイサービス施設（パレット）		
21	武蔵野市立武蔵野陸上競技場	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団	生涯学習スポーツ課
22	武蔵野市立武蔵野軟式野球場		
23	武蔵野市立武蔵野庭球場		
24	武蔵野市立武蔵野総合体育館		
25	武蔵野市立緑町スポーツ広場		
26	武蔵野市立武蔵野プール		
27	武蔵野市立武蔵野温水プール		
28	武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス		
29	武蔵野市立吉祥寺図書館		図書館

3 令和7年度モニタリング評価（令和6年度実績）からの変更点

(1) 改定の背景・概要

令和7年度からの新たな指定期間において、一部施設について、本市で初めて公募による指定管理者の選定を実施した。非公募の場合も、公募の審査に準じて、要求水準、審査基準を明確にし、審査の上、指定を行った。

これに伴い、令和8年度以降のモニタリング評価については、要求水準、審査基準に照らし、公の施設の管理運営の状況を確認し、より適正に評価を実施していくため、「武蔵野市指定管理者制度の運用に関する指針」及び「公の施設のモニタリング評価手順」の改定を行った。詳細については、市ホームページ

(https://www.city.musashino.lg.jp/shiseijoho//shisaku_keikaku/sogoseisakubu_shisaku_keikaku/shiteikanrishaseido/1007836.html) にて公表している。

なお、当該要求水準等は、令和6年度までの指定管理状況を基準として設定し、全体的に指定管理者に求める水準を引き上げている。

(2) 主な改定内容

- ① 評価項目と公募・非公募による選定時の審査基準の整合
- ② 評価項目と利用者アンケートの項目の整合
- ③ 評価シート、評価報告書の様式変更
- ④ WEBによる利用者アンケートの導入（任意）

※②④利用者アンケートについては、令和8年度以降の実施分から改定する。

4 評価方法

下記資料を基に評価を行った。

なお、上記3に記載の改定に基づき、一次評価における評価は、「水準を上回り、又は改善を必要とする特筆すべき事項がなく、求められた水準を満たし、適正な管理運営がなされていれば「3：適当」と評価すること」とし、判断基準を統一している。

評価	書類	書式	備考
一次評価	評価シート	様式1	
二次評価	武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果	様式4	一次評価で作成した様式1や利用者満足度(様式3を参照)、利用状況等を根拠に行う。

5 施設ごとの総合評価の評価基準

評価レベル	評価基準
S	期待以上の非常に優れた成果をあげている。
A	期待以上の優れた成果をあげている。
B	期待どおりの適正な運営が行われている。
C	期待する水準に達しておらず、改善が必要である。
D	期待する水準から遠く、相当な改善が必要である。

上記３に記載の改定に基づき、二次評価における評価は、「成果又は改善に関し特筆すべき事項がなく、期待どおりの適正な運営が行われている場合は、「B」と評価する。」とし、評価基準を統一している。

なお、評価結果にある用語の意味は次のとおりである。

「総合満足度の指数」：利用者アンケート調査結果の総合満足度の「満足」と「おおむね満足」の合計から「不満」と「やや不満」の合計を差し引いた数値

「利用率」：各施設の利用可能回数（操業数）における利用回数の割合

6 評価委員会委員名簿

委 員	鵜川 正樹	外部有識者（公認会計士）
〃	石川 知穂	外部有識者（中小企業診断士）
〃	樋爪 泰平	武蔵野市総合政策部長
〃	吉清 雅英	武蔵野市総務部長
〃	齋藤 淳一	武蔵野市財務部長

7 モニタリング評価結果の概要

対象 29 施設に対し、モニタリング評価委員会の意見・助言を踏まえモニタリング評価を実施した結果、以下のとおり、総じて適正かつ良好な管理運営がなされていることが確認された。

なお、「令和 8 年度評価結果」は、新たな要求水準書（令和 7 年度～）等に基づく評価を行っており、当該要求水準等は、令和 6 年度までの指定管理状況を基準として設定し、全体的に指定管理者に求める水準を引き上げているため、令和 7 年度の評価結果と同水準の管理運営がなされている場合、原則として評価レベルは「B」となる。

＜評価結果一覧表＞

No.	評価対象施設	令和 8 年度 評価結果	令和 7 年度 評価結果
1	武蔵野市立武蔵野公会堂	B	B
2	武蔵野市立武蔵野市民文化会館	B	A
3	武蔵野市立吉祥寺美術館	A	A
4	武蔵野市立松露庵	B	B
5	武蔵野市立吉祥寺シアター	B	A
6	武蔵野市立武蔵野芸能劇場	B	B
7	武蔵野市立武蔵野スイングホール	B	B
8	武蔵野市立かたらいの道市民スペース	B	B
9	武蔵野市立武蔵野商工会館市民会議室（ゼロワンホール）	B	B
10	武蔵野市立自然の村	A	B
11	武蔵野市立 0 1 2 3 吉祥寺	B	A
12	武蔵野市立 0 1 2 3 はらっぱ	B	A
13	武蔵野市立高齢者総合センター（社会活動センター）	B	B
14	武蔵野市立高齢者総合センターデイサービスセンター	B	A
15	武蔵野市立北町高齢者センター（小規模サービスハウス）	B	B
16	武蔵野市立北町高齢者センターコミュニティケアサロン		S
17	武蔵野市桜堤ケアハウス	B	B
18	武蔵野市立みどりのこども館	A	A
19	武蔵野市障害者福祉センター	B	B
20	武蔵野市放課後等デイサービス施設（パレット）	B	A
21	武蔵野市立武蔵野陸上競技場	B	B
22	武蔵野市立武蔵野軟式野球場		
23	武蔵野市立武蔵野庭球場		
24	武蔵野市立武蔵野総合体育館		
25	武蔵野市立緑町スポーツ広場		
26	武蔵野市立武蔵野プール	B	B
27	武蔵野市立武蔵野温水プール		
28	武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス	A	A
29	武蔵野市立吉祥寺図書館	A	S

※No.15 武蔵野市立北町高齢者センター（小規模サービスハウス）は、令和 6 年度で事業を廃止しているため、令和 8 年度評価より No.16 武蔵野市立北町高齢者センターコミュニティケアサロンと一体評価とする。

武蔵野市公の施設のモニタリング 評価結果（施設別）

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.1 武蔵野市立武蔵野公会堂																																																																		
施設主管課(最終一次評価者)	市民部 市民活動推進課																																																																		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団																																																																		
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 60.0																																																																		
	※総合満足度として「満足」と「概ね満足」を合わせて70.4%であった。全てのアンケート項目において、昨年度よりも平均点は向上している。提案事業参加者の回答割合が増加したことに伴う影響と推測され、全体的に数値が上振れしている一方、建物・設備・備品等の管理、その他(バリアフリーへの配慮など)は大きく数値を下げている。																																																																		
	※職員の対応等については「満足」と「概ね満足」を合わせて80%を超え、情報提供については「満足」と「概ね満足」を合わせて70%を超えた評価であった。令和8年度からの休館の周知を行う際には、貸館利用者に向けて、市内の他文化施設のご案内等も行っており、そのことについても評価をいただけたものと考えている。																																																																		
	※建物・設備などは数値を下げはしたものの、自由記述においては、雰囲気や大きさ、職員の取扱等を評価する記述もあり、引き続き、丁寧な施設運営を行うことで、利用者満足度の向上に努めたい。																																																																		
施設利用状況	<table><tr><td>開館日数</td><td colspan="3">308日</td><td colspan="2">対前年度比</td></tr><tr><td>施設</td><td>利用可能回数</td><td>利用回数</td><td>利用率</td><td>利用率</td><td>増減</td></tr><tr><td>ホール</td><td>784</td><td>535</td><td>68.2%</td><td>70.9%</td><td>-2.7</td></tr><tr><td>第1会議室</td><td>898</td><td>618</td><td>68.8%</td><td>74.6%</td><td>-5.8</td></tr><tr><td>第2会議室</td><td>898</td><td>499</td><td>55.6%</td><td>61.4%</td><td>-5.8</td></tr><tr><td>第3会議室</td><td>0</td><td>0</td><td>0.0%</td><td>100.0%</td><td>-100.0</td></tr><tr><td>第4会議室</td><td>898</td><td>424</td><td>47.2%</td><td>57.8%</td><td>-10.6</td></tr><tr><td>第5会議室</td><td>898</td><td>547</td><td>60.9%</td><td>63.2%</td><td>-2.3</td></tr><tr><td>第6会議室</td><td>916</td><td>353</td><td>38.5%</td><td>46.0%</td><td>-7.5</td></tr><tr><td>和室(1)</td><td>916</td><td>366</td><td>40.0%</td><td>46.1%</td><td>-6.1</td></tr><tr><td>和室(2)</td><td>916</td><td>411</td><td>44.9%</td><td>50.6%</td><td>-5.7</td></tr></table> ※R6.4.1～R7.3.31 第3会議室は雨漏りのため、一般貸出は停止。 ただし、雨漏りの状況を確認して、市の行事等で全施設が必要な場合のみ利用可とした。R7.4.1から使用不可とした。 ※R6.8.5～19 埋蔵文化財試掘調査により全施設貸出なし。	開館日数	308日			対前年度比		施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減	ホール	784	535	68.2%	70.9%	-2.7	第1会議室	898	618	68.8%	74.6%	-5.8	第2会議室	898	499	55.6%	61.4%	-5.8	第3会議室	0	0	0.0%	100.0%	-100.0	第4会議室	898	424	47.2%	57.8%	-10.6	第5会議室	898	547	60.9%	63.2%	-2.3	第6会議室	916	353	38.5%	46.0%	-7.5	和室(1)	916	366	40.0%	46.1%	-6.1	和室(2)	916	411	44.9%	50.6%	-5.7
開館日数	308日			対前年度比																																																															
施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減																																																														
ホール	784	535	68.2%	70.9%	-2.7																																																														
第1会議室	898	618	68.8%	74.6%	-5.8																																																														
第2会議室	898	499	55.6%	61.4%	-5.8																																																														
第3会議室	0	0	0.0%	100.0%	-100.0																																																														
第4会議室	898	424	47.2%	57.8%	-10.6																																																														
第5会議室	898	547	60.9%	63.2%	-2.3																																																														
第6会議室	916	353	38.5%	46.0%	-7.5																																																														
和室(1)	916	366	40.0%	46.1%	-6.1																																																														
和室(2)	916	411	44.9%	50.6%	-5.7																																																														

一次評価

一次評価結果	指定管理者	69.6/ 100	主管課	62.4/ 100
アピール点	*ホール、会議室、和室があり、様々な用途、人数の利用に柔軟に対応できる施設であり、初めて施設を利用する方からの問い合わせには、バリアフリー対応状況等、ご理解いただいたうえで使用申込みをいただけるよう、利用内容を丁寧に聞き取り、適切な施設を案内を行い、初めて来館した方が大きく増加した。 *施設利用者以外にもトイレを開放するなどし、日頃から地域との関わりを強めている他、吉祥寺のまちで行われる様々なイベントの周知に協力をしたり、施設として参加したりすることで、日頃文化施設を訪れる機会のない方にも、足を運んでいただくきっかけを作っている。 *武蔵野市商店会連合会や吉祥寺活性化協議会、武蔵野商工会議所などが参加する吉祥寺周辺で行われるまち全体のイベントに参加。吉祥寺ハロウィンフェスタでは、ハロウィン撮影スポットを設置。吉祥寺キャンドルナイトでは、キャンドルを飾るほか、クリスマスの時期のツリーを設置。それ以外にも、ひな人形の飾り物を貼るなど、親しみやすい空間を演出して、施設の認知度向上を図り、日頃文化施設と接点の少ない層へのアプローチを行った。 *構造上、正面玄関ポーチの電灯だけでは照度が不足するため、イルミネーションを設置することで明るく、訪れやすい雰囲気作りを心掛けた。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	*吉祥寺駅至近のアクセスの良さを生かし、引き続き利用率向上に努めていただきたい。 *老朽化した施設であるため、利用者の安全を第一に考え館内の安全確保、保守点検を引き続き徹底されたい。		*利用率向上のため、イベントの主催者（地域団体）と連携を図り、ハロウィンフェスタをはじめとするイベントに初めて参加するなど、知名度向上を図った。 *定期的に自主防災訓練を実施したり、ホール利用の主催者には避難誘導担当者の選任を依頼するなど、日頃から非常時の安全確保に向けた取組みを行っている。 *設備の老朽化によるトイレの臭気対策など、保守管理を徹底し、利用者サービスの維持に努めている。	

評価すべき点	＊利用者案内や受付などの丁寧な対応と、老朽化した施設ながら日常点検、保守により設備管理の維持など、良好な管理運営がされている。 ＊令和7年度は、リニューアル後の施設再開を見据え、吉祥寺の駅周辺で例年開催されるイベントの主催者(地域団体)と連携を図り、ハロウィンフェスタをはじめとするイベントに初めて参加した。武蔵野市コラボ企画の、話題性が見込まれた「第4回アニムサ祭」についても、会場として、積極的に協力し、吉祥寺の文化的なイメージ向上を、地域住民はもとより、来街者に対しても発信するほか、文化施設になじみがない層への認知度向上を図った。
--------	---

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	B	B
総括	＊積極的に地域と連携し、新たなイベントに参加するなど、来街者が多い立地を生かし文化施設になじみのない層への認知度向上を図っている。 ＊施設の老朽化が進む中で、適切に保守管理を実施し、事故等発生せずに利用者の安全確保が徹底されている。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	＊休館中も必要な管理を適切に行っていただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.2 武蔵野市立武蔵野市民文化会館																																																																																																
施設主管課(最終一次評価者)	市民部 市民活動推進課																																																																																																
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団																																																																																																
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 96.2																																																																																																
	*「満足」57.5%と「概ね満足」39.8%を合わせて97.3%と非常に高い回答を得た。前年度は「満足」43.9%と「概ね満足」41.2%を合わせて85.1%であり、満足度が12.2ポイント増加している。過去5年間の平均値でも5段階で4.4を上回っており、高評価を得続けている中でさらに改善が評価されたと考えられる。 *項目ごとに見ると、A:職員の対応・B:建物・設備・備品等の管理、E:主催・共催する文化事業の3項目の数値が高い傾向が読み取れる。要望意見を適切に聞き取りながら、引き続き質の高い満足度が得られる事業企画、施設運営に邁進したい。																																																																																																
施設利用状況	<table><tr><td>開館日数</td><td colspan="3">308日</td><td colspan="2">対前年度比</td></tr><tr><td>施設</td><td>利用可能回数</td><td>利用回数</td><td>利用率</td><td>利用率</td><td>増減</td></tr><tr><td>大ホール</td><td>529</td><td>433</td><td>81.9%</td><td>77.3%</td><td>4.6</td></tr><tr><td>小ホール</td><td>520</td><td>502</td><td>96.5%</td><td>88.0%</td><td>8.5</td></tr><tr><td>第1リハーサル室</td><td>568</td><td>366</td><td>64.4%</td><td>48.7%</td><td>15.7</td></tr><tr><td>第2リハーサル室</td><td>570</td><td>328</td><td>57.5%</td><td>57.4%</td><td>0.1</td></tr><tr><td>展示室A</td><td>576</td><td>199</td><td>34.5%</td><td>27.3%</td><td>7.2</td></tr><tr><td>展示室B</td><td>576</td><td>181</td><td>31.4%</td><td>27.3%</td><td>4.1</td></tr><tr><td>第1会議室</td><td>582</td><td>193</td><td>33.2%</td><td>37.8%</td><td>-4.6</td></tr><tr><td>第2会議室</td><td>581</td><td>137</td><td>23.6%</td><td>100.0%</td><td>-76.4</td></tr><tr><td>茶室</td><td>573</td><td>142</td><td>24.8%</td><td>22.7%</td><td>2.1</td></tr><tr><td>第1和室</td><td>582</td><td>107</td><td>18.4%</td><td>20.7%</td><td>-2.3</td></tr><tr><td>第2和室</td><td>582</td><td>108</td><td>18.6%</td><td>19.3%</td><td>-0.7</td></tr><tr><td>第1練習室</td><td>579</td><td>518</td><td>89.5%</td><td>91.5%</td><td>-2.0</td></tr><tr><td>第2練習室</td><td>579</td><td>573</td><td>99.0%</td><td>89.4%</td><td>9.6</td></tr><tr><td>第3練習室</td><td>579</td><td>502</td><td>86.7%</td><td>86.5%</td><td>0.2</td></tr></table> ※令和6年度は、第2会議室は吉祥寺シアター・芸能劇場の仮事務所として使用した。 ※令和7年4月1日から7月31日まで改修工事のため全館貸出しなし。	開館日数	308日			対前年度比		施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減	大ホール	529	433	81.9%	77.3%	4.6	小ホール	520	502	96.5%	88.0%	8.5	第1リハーサル室	568	366	64.4%	48.7%	15.7	第2リハーサル室	570	328	57.5%	57.4%	0.1	展示室A	576	199	34.5%	27.3%	7.2	展示室B	576	181	31.4%	27.3%	4.1	第1会議室	582	193	33.2%	37.8%	-4.6	第2会議室	581	137	23.6%	100.0%	-76.4	茶室	573	142	24.8%	22.7%	2.1	第1和室	582	107	18.4%	20.7%	-2.3	第2和室	582	108	18.6%	19.3%	-0.7	第1練習室	579	518	89.5%	91.5%	-2.0	第2練習室	579	573	99.0%	89.4%	9.6	第3練習室	579	502	86.7%	86.5%	0.2
開館日数	308日			対前年度比																																																																																													
施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減																																																																																												
大ホール	529	433	81.9%	77.3%	4.6																																																																																												
小ホール	520	502	96.5%	88.0%	8.5																																																																																												
第1リハーサル室	568	366	64.4%	48.7%	15.7																																																																																												
第2リハーサル室	570	328	57.5%	57.4%	0.1																																																																																												
展示室A	576	199	34.5%	27.3%	7.2																																																																																												
展示室B	576	181	31.4%	27.3%	4.1																																																																																												
第1会議室	582	193	33.2%	37.8%	-4.6																																																																																												
第2会議室	581	137	23.6%	100.0%	-76.4																																																																																												
茶室	573	142	24.8%	22.7%	2.1																																																																																												
第1和室	582	107	18.4%	20.7%	-2.3																																																																																												
第2和室	582	108	18.6%	19.3%	-0.7																																																																																												
第1練習室	579	518	89.5%	91.5%	-2.0																																																																																												
第2練習室	579	573	99.0%	89.4%	9.6																																																																																												
第3練習室	579	502	86.7%	86.5%	0.2																																																																																												

一次評価

一次評価結果	指定管理者	76.4/ 100	主管課	69.6/ 100
アピール点	* 令和7年度は、大ホール、小ホール、展示室などの設備改修工事が行われたため、4月より7月までは貸出施設は休館となったが、市民の芸術文化へのアクセスが途切れないう、文化会館以外の施設での独自公演(自主事業)の実施にもチャレンジした。主催等公演(提案事業)を数多く実施し、特に主催公演ではほぼ完売となる運営を達成する一方、親子で楽しめる公演の実施や、シティバレエや第九の合唱など市民らによる公演の支援等、多様な芸術文化への市民ニーズを的確に把握した様々な事業を展開しており、市の文化振興基本方針に示された5つの方針の達成に向けた事業運営を行っている。 * 武蔵野市民文化会館の特徴の一つでもあるパイプオルガンの普及と啓発を目指し、オルガン体験やオルガンスクールを継続し、第10回を迎えるオルガンコンクールに向けて、着実に定着を図っている。 * 市立小学校へのアウトリーチ事業は、演奏家や芸術家の高度な技法やプロとしての考え方などにも子どもたちが触れる機会となり、芸術文化への関心を高めるとともに創造性を育む取組みとして継続している。また、子ども茶道教室やキッズ伝統芸能体験など日本の伝統を子どもたちが体験できる事業も継続実施している。 * 指定管理施設とは別の市内施設において、指定管理事業とは別に自主事業を4回実施する新たな試みを行った。チケットは即完売で、別に実施したアンケートにおいても、本事業団によるこのような公演を希望する声が聞かれた。開催スペース、興行内容、客層などを考慮し、引き続き市民の芸術文化へのアクセスの機会を増やすとともに、文化施設の価値を広く発信できるような事業に取り組んでいく。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	* カフェの運営については、営業日・営業時間の拡大等、利用者の意見を踏まえた検討を行っていただきたい。		* 館内の催事の状況により、入店客数が大きく影響するため、事前に催事情報を共有した上で、営業日を協議し決定している。催事がない場合も、運営事業者自らによるカフェ内での小規模イベントの開催支援をすることで、来客を見込んで営業日とするなど、効率的かつ効果的な運営ができるよう協力している。	
評価すべき点	* 多くの主催公演を行い高い評価を受けていることに加え、市の文化施設の中心として、親子で楽しめる公演の実施や、シティバレエや第九の合唱など市民らによる公演の支援等多様な事業を積極的に展開した。 * 利用者アンケートでも高い満足度を獲得しており、事業企画と施設管理のどちらも市民ニーズを満たした効果的な運営を行っている。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	A	A
総括	*好評な主催公演により来館者を維持しつつ、親子で音楽を楽しめる事業など、新たな観客層を想定した公演・体験事業を実施し、利用者増加に努めている。 *主催事業を実施するだけでなく、市民らによる公演の支援も行うなど、市の文化振興施設として適切に管理運営が行われている。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	*引き続き、展示室など利用率の低い貸出施設の利用率向上に努めていただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.3 武蔵野市立吉祥寺美術館																								
施設主管課(最終一次評価者)	市民部 市民活動推進課																								
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団																								
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 96.6																								
	*職員の対応、建物・整備・備品等の管理は、満足と概ね満足を合わせて9割以上が満足している。																								
	*情報の提供、特に公演案内や施設利用案内などのわかりやすさに、「やや不満」「不満」の回答が1%程度あるものの昨年よりも減少し、すべての項目において「満足」の回答が50%を超えており、満足度も10%以上高くなっている。																								
	*昨年と比べるとすべての項目で満足とやや満足を合わせた平均値が80%代となっている。																								
施設利用状況	<table><tr><td></td><td>令和7年度</td><td>令和6年度</td><td>対前年度比</td></tr><tr><td>会期実日数(日)</td><td>257</td><td>240</td><td>17</td></tr><tr><td>入館者総数(人)</td><td>40,536</td><td>22,891</td><td>17,645</td></tr><tr><td>1日平均入館者数(人)</td><td>158</td><td>95</td><td>63</td></tr></table>		令和7年度	令和6年度	対前年度比	会期実日数(日)	257	240	17	入館者総数(人)	40,536	22,891	17,645	1日平均入館者数(人)	158	95	63								
		令和7年度	令和6年度	対前年度比																					
	会期実日数(日)	257	240	17																					
	入館者総数(人)	40,536	22,891	17,645																					
	1日平均入館者数(人)	158	95	63																					
	<table><tr><td>開館日数</td><td colspan="3">346日</td><td colspan="2">対前年度比</td></tr><tr><td>施設</td><td>利用可能回数</td><td>利用回数</td><td>利用率</td><td>利用率</td><td>増減</td></tr><tr><td>企画展示室 (市民ギャラリーA)</td><td>12</td><td>10</td><td>83.3%</td><td>81.8%</td><td>1.5</td></tr><tr><td>企画展示室 (市民ギャラリーB)</td><td>12</td><td>9</td><td>75.0%</td><td>81.8%</td><td>-6.8</td></tr></table>	開館日数	346日			対前年度比		施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減	企画展示室 (市民ギャラリーA)	12	10	83.3%	81.8%	1.5	企画展示室 (市民ギャラリーB)	12	9	75.0%	81.8%	-6.8
	開館日数	346日			対前年度比																				
	施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減																			
	企画展示室 (市民ギャラリーA)	12	10	83.3%	81.8%	1.5																			
	企画展示室 (市民ギャラリーB)	12	9	75.0%	81.8%	-6.8																			
※市民ギャラリーA・Bは、各年7、11、3月に企画展示室を、それぞれ6日間を1単位として貸出している。																									
<table><tr><td>開館日数</td><td colspan="3">346日</td><td colspan="2">対前年度比</td></tr><tr><td>施設</td><td>利用可能回数</td><td>利用回数</td><td>利用率</td><td>利用率</td><td>増減</td></tr><tr><td>音楽室</td><td>1,031</td><td>860</td><td>83.4%</td><td>83.9%</td><td>0.5</td></tr></table>	開館日数	346日			対前年度比		施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減	音楽室	1,031	860	83.4%	83.9%	0.5							
開館日数	346日			対前年度比																					
施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減																				
音楽室	1,031	860	83.4%	83.9%	0.5																				

一次評価

一次評価結果	指定管理者	72.4/ 100	主管課	68.4/ 100
アピール点	*企画展では、リト@葉っぱ切り絵展で23,417人(歴代3位)、北田卓史展で6,488人の来館者があり、これまであまり美術館に縁がなかった層(20歳代・60歳代)にもアピールできた。(作家の元々の人気とSNS等による広報による) *令和4年度より、市民とともに市内や都内施設の公共彫刻作品を巡るツアーを開催し、鑑賞にとどまらず、維持管理や活用について考える機会を提供し続けている。 *ミュージアムショップでは、作品や作家由来のグッズを販売することで、観覧記念となり満足度の向上となるよう工夫したことにより、予算額を超える売上を記録した。 *武蔵野アール・ブリュット実行委員会では事務局として市民協働に取り組むとともに、2年連続で企画展を美術館で行った。地元企業等に資材をご提供いただき、展示室内で武蔵野市の立体地図を制作するワークショップを開催した。 *コピス内ギャラリーに展示作家の作品を展示する特別展示や各種スタンプラリー、吉祥寺キャンドルナイト、トランスボックスへの広告掲載など積極的に協力し、街中の賑わい創出の一環となった。 *アーティスト・イン・スクールでは、市立小学校と作家と美術館(事業団)が連携することにより、小学5年生と一緒に図工の授業を行い、作品を制作し、そのパネルを美術館に展示した。 *過去に吉祥寺美術館で行った企画展をパッケージ化し、地方の美術館等に巡回展示し、その企画展自体の監修も行う事業を開催した。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	*今後も継続して地域と連携しつつ、より利用者の意見を反映させた事業運営に努めていただきたい。 *企画展の内容や広報方法を引き続き検討し、来場者数の維持・増加に努めていただきたい。		*武蔵野アール・ブリュットをはじめとして、公共彫刻に関するツアーや市内小学校と連携したワークショップの開催等の地域連携を行った。 *多彩でバランスの取れた企画展を開催し、幅広い年代の多くの来場者があった。	
評価すべき点	*武蔵野アール・ブリュットの開催や公共彫刻ツアー等に取り組み、地域にアートを根付かせ、市民とともにアートを考察し創造する機会を提供している。 *魅力的な企画展の開催により多くの来場者があり、幅広くアートの魅力を伝える役割を果たしている。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	A (期待以上の優れた成果をあげている。)	A	A
総括	* 集客力のある企画展の開催により単発的な来場者数が大幅に増加しただけでなく、中長期的な視点や若年層へのアプローチなども踏まえた企画展示を行い、ミュージアムショップの売上は、予算額を超える金額となっている。 * 武蔵野アール・ブリュットや市内小学校など地域連携を継続している。 * 学芸員のシフト配置を展示時間に合わせることで超過勤務削減を実現し、経費節減に取り組みつつも、繁忙期に合わせて人員を増加させるなど効率的な運営を行い、職員対応について非常に高い満足度を得ている。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	* 引き続き、地域と連携して幅広い世代へアートの魅力発信に努めていただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.4 武蔵野市立松露庵																						
施設主管課(最終一次評価者)	市民部 市民活動推進課																						
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団																						
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度			97.3																			
	*満足69.4%、概ね満足27.9%の合計が97.3%となり、普通の割合は2.7%、やや不満、不満は0%である。																						
	*職員の対応や、建物・設備・備品等の管理の満足度は、すべての項目において90%以上であり、大変評価されている。																						
施設利用状況																							
	<table><tr><td>開館日数</td><td colspan="3">308日</td><td colspan="2">対前年度比</td></tr><tr><td>施設</td><td>利用可能回数</td><td>利用回数</td><td>利用率</td><td>利用率</td><td>増減</td></tr><tr><td>松露庵</td><td>601</td><td>204</td><td>33.9%</td><td>29.3%</td><td>4.6</td></tr></table>						開館日数	308日			対前年度比		施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減	松露庵	601	204	33.9%	29.3%
開館日数	308日			対前年度比																			
施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減																		
松露庵	601	204	33.9%	29.3%	4.6																		

一次評価

一次評価結果	指定管理者	67.2/ 100	主管課	60.0/ 100
アピール点	* 主な利用者である茶道利用者は安定しているが、施設は老朽化により、気温の高低の影響を受けやすく、利用頻度に直に影響することもあり、茶道以外の利用者の開拓にも継続的に取り組んできている。 * 貸館利用のない際に、施設に興味を持った方が見学等もできるように、施設の掲示物の表記を改めた。また、市民に広く施設を認知していただく企画として、市内事業者（日本茶専門店）に協力を求め、自主事業としてオープンデーを開催し、300名以上の方にご来館いただいた。 * 施設（庭園を含む）の特性を活かし、季節感のある草木の写真等を掲載するInstagramの運用を開始した。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	* 施設・事業のPRについて、利用率の向上に向けた努力、工夫をされたい。 * 老朽化した施設であるため、利用者の安全を第一に考え施設の安全確保、保守点検を引き続き徹底されたい。		* オープンデーやカフェとの連携事業により、茶道以外での利用者への認知度が高まっていることは効果的なPRといえる。 * 日常の安全確保、保守点検により大きなトラブルはなかった。	
評価すべき点	* 施設の利用者サービス向上と地域活動の充実に取り組んでおり、職員対応の高い満足度や、カフェとの提携による新規利用者の開拓、利用者数の段階的な回復など、創意工夫した事業展開が評価される。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	B	B
総括	*Instagramの運用を開始するなど、利用率向上に向けて情報発信に努めている。 *施設の老朽化が進む中で適切に施設管理を行い、地域とも連携して事業を実施し、茶道以外にも多目的に利用できる施設であることをPRし、認知度を高めている。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	*引き続き、施設の保守点検等を適切に行い、利用率向上に努めていただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.5 武蔵野市立吉祥寺シアター																												
施設主管課(最終一次評価者)	市民部 市民活動推進課																												
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団																												
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 86.4																												
	※昨年度に引き続き総合満足度は高い評価を得た。アンケートでは、特に公演内容や企画の充実度、建物・設備・備品等の利用環境について高い評価が得られており、全体として高い水準で推移している。 ※「公演案内や施設利用案内等の情報のわかりやすさ」及び「広報誌・チラシ・ポスター・インターネットなどによる情報のわかりやすさ」に関する項目がいずれも昨年度より向上し、平均点がそれぞれ0.1ポイント上昇した。																												
施設利用状況	<table border="1"> <tr> <td>開館日数</td><td colspan="3">348日</td><td colspan="2">対前年度比</td></tr> <tr> <td>施設</td><td>利用可能回数</td><td>利用回数</td><td>利用率</td><td>利用率</td><td>増減</td></tr> <tr> <td>劇場</td><td>948</td><td>948</td><td>100%</td><td>100.0%</td><td>0</td></tr> <tr> <td>けいこ場</td><td>989</td><td>843</td><td>85.2%</td><td>90.1%</td><td>-4.9</td></tr> </table>					開館日数	348日			対前年度比		施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減	劇場	948	948	100%	100.0%	0	けいこ場	989	843	85.2%	90.1%	-4.9
開館日数	348日			対前年度比																									
施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減																								
劇場	948	948	100%	100.0%	0																								
けいこ場	989	843	85.2%	90.1%	-4.9																								

一次評価

一次評価結果	指定管理者	71.6/ 100	主管課	66.4/ 100
アピール点	*次世代を担う人材の育成や、ファミリー層向け公演、市民・若年層を対象とした参加・交流型事業を継続的に実施し、舞台芸術の普及と将来的な観客層の拡大に寄与している。 *小学校や公園等でのアウトリーチ公演や、カフェや雑貨店、ライブハウス等地域の店舗と連携した企画を展開することで、地域とのつながりを強化するとともに、施設の認知度向上と新規利用者の獲得につなげている。 *SNSを活用した情報発信を強化し、主に若年層へのアプローチを図っている。特にInstagramにおいては広告機能の活用を開始し、従来の来館者層にとどまらない新規層への訴求を行うことで、施設の認知拡大と来館促進につなげている。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	*舞台芸術に関する文化事業の拠点として、現在進めているアウトリーチやコラボ企画等地域連携の充実により一層努めていただきたい。		*アウトリーチ事業として、小学校や地域の子ども食堂など対象となる施設の幅を広げるとともに、飲食店等の地域店舗との連携も深め、地域連携事業のさらなる充実を図った。	
評価すべき点	*舞台芸術の公演のみにとどまらず親子向け公演や次世代育成事業を実施することで、現在の来館者数獲得と、舞台芸術の普及、将来に繋がる事業を両立している。 *効果的な情報発信や適切な施設管理により、高い稼働率を維持している。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	A	A
総括	※アウトリーチ公演の協働先や公演会場について多様に展開し、継続的な実施も見据えて地域連携事業に取り組んでいる。 ※SNSを活用し若年層へのアプローチを図るなど、情報発信の強化により、情報のわかりやすさについて満足度が向上している。 ※公演内容や企画の充実度など利用者満足度も高く、高い稼働率を維持している。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	※引き続き、積極的な情報発信により、施設の認知拡大と来館促進に努めていただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.6 武蔵野市立武蔵野芸能劇場																												
施設主管課(最終一次評価者)	市民部 市民活動推進課																												
指定管理者の名称	アクティオ株式会社																												
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 80.6 ※「職員の対応」、「建物・設備・備品等の管理」のすべての質問において、「満足」、「概ね満足」と回答した割合が80%超で、概ね良好な評価が得られている。 ※一方で、すべての項目において不満の割合も一定程度みられることから、引き続き改善の余地があることが確認された。 ※総合満足度としては「やや不満」、「不満」と回答した方はいなかった。																												
施設利用状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開館日数</th><th colspan="3">293日</th><th colspan="2">対前年度比</th></tr> <tr> <th>施設</th><th>利用可能回数</th><th>利用回数</th><th>利用率</th><th>利用率</th><th>増減</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小劇場</td><td>883</td><td>708</td><td>80.2%</td><td>80.1%</td><td>0.1</td></tr> <tr> <td>小ホール</td><td>873</td><td>416</td><td>47.7%</td><td>50.9%</td><td>-3.2</td></tr> </tbody> </table> ※ R6.9.9～R7.3.31(R6.9.21を除く)は小劇場工事、R6.9.22～R7.3.31は改修工事により全館休館					開館日数	293日			対前年度比		施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減	小劇場	883	708	80.2%	80.1%	0.1	小ホール	873	416	47.7%	50.9%	-3.2
開館日数	293日			対前年度比																									
施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減																								
小劇場	883	708	80.2%	80.1%	0.1																								
小ホール	873	416	47.7%	50.9%	-3.2																								

一次評価

一次評価結果	指定管理者	60.4/ 100	主管課	60.0/ 100
アピール点	＊LINEで予約・支払いができる仕組みを導入したことで、一部のお客様から手続きが簡単になったとコメントをいただいた。また、窓口・電話対応もLINEでの予約の説明をしたことで運営効率が向上した。 ＊R7年度に提案事業として寄席、成蹊大学のお笑いサークル「トンチキ」のお笑いライブ等を企画・実行した事は成果につながっており、R8年度にも続けられる事業だと思っている。市外を含む多様な層に向けて情報発信と働きかけを行い、市民文化の中核施設としての重要な役割を果たし、利用拡大につなげた。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	＊令和7年度からの新たな指定管理者に対し、今回のモニタリング評価の内容を引き継いでもらいたい。		＊前指定管理者から予約関連の運用ルール・支払い・キャンセルなどを引継ぎ、事前打ち合わせ時に作成する「ご利用者打合せ記録」を元に継続的な接遇品質の向上につなげた。 ＊職員・スタッフ間の連携を密にし、利用状況・課題・改善案を共有する場を整備し、スタッフ全員が施設運営に主体的に関わる体制を構築した。シフト間での継続性を担保する為に予約状況や問い合わせ内容を共有できる「共有ノート」を作成し、誰でも最新情報を把握できるようにした。意見交換をする事により施設利用率の向上を目指した。	
評価すべき点	＊前指定管理者から引き続いて、安全、快適な施設環境を保ち、効率的かつ堅実な管理運営がなされている。 ＊古典芸能の情報提供や提案事業を展開し、施設の特性を活かしつつ、利用促進を図っている。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	B	B
総括	※LINEで予約・支払いができる仕組みを導入し、利用者の手続きの利便性が向上している。 ※前年度の要望事項であった前指定管理者からの引継ぎを適切に行い、施設の利用率も維持し、管理運営を行っている。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	※小ホールの平日利用の促進や新規利用者の獲得に向けた取組みを進めていただきたい。 ※業務内容や対応基準の明確化をすすめ、一定のサービス水準を維持できるよう努めていただきたい。 ※人的マネジメントを強化し職員の継続雇用を目指すとともに、今後は更なる職員間の情報共有の徹底と業務の円滑な引継ぎに努めていただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.7 武蔵野市立武蔵野スイングホール																																																
施設主管課(最終一次評価者)	市民部 市民活動推進課																																																
指定管理者の名称	アクティオ株式会社																																																
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 85.5																																																
	＊「職員対応」については、すべての質問において「満足」、「概ね満足」の回答が80%を超えており、良好な評価が得られている。																																																
	＊「やや不満」、「不満」という回答もいくつかいただいているため、更なる総合満足度の向上に向けて引き続き改善に努める。																																																
施設利用状況	<table><tr><td>開館日数</td><td colspan="3">295日</td><td colspan="2">対前年比</td></tr><tr><td>施設</td><td>利用可能回数</td><td>利用回数</td><td>利用率</td><td>利用率</td><td>増減</td></tr><tr><td>スイングホール</td><td>806</td><td>671</td><td>83.3%</td><td>86.2%</td><td>-2.9</td></tr><tr><td>スカイルーム1</td><td>850</td><td>519</td><td>61.1%</td><td>69.0%</td><td>-7.9</td></tr><tr><td>スカイルーム2</td><td>853</td><td>457</td><td>53.6%</td><td>63.4%</td><td>-9.8</td></tr><tr><td>スカイルーム3</td><td>855</td><td>476</td><td>55.7%</td><td>65.8%</td><td>-10.1</td></tr><tr><td>レインボーサロンA</td><td>804</td><td>484</td><td>60.2%</td><td>55.2%</td><td>5.0</td></tr><tr><td>レインボーサロンB</td><td>794</td><td>468</td><td>58.9%</td><td>56.6%</td><td>2.3</td></tr></table>	開館日数	295日			対前年比		施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減	スイングホール	806	671	83.3%	86.2%	-2.9	スカイルーム1	850	519	61.1%	69.0%	-7.9	スカイルーム2	853	457	53.6%	63.4%	-9.8	スカイルーム3	855	476	55.7%	65.8%	-10.1	レインボーサロンA	804	484	60.2%	55.2%	5.0	レインボーサロンB	794	468	58.9%	56.6%	2.3
開館日数	295日			対前年比																																													
施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率	増減																																												
スイングホール	806	671	83.3%	86.2%	-2.9																																												
スカイルーム1	850	519	61.1%	69.0%	-7.9																																												
スカイルーム2	853	457	53.6%	63.4%	-9.8																																												
スカイルーム3	855	476	55.7%	65.8%	-10.1																																												
レインボーサロンA	804	484	60.2%	55.2%	5.0																																												
レインボーサロンB	794	468	58.9%	56.6%	2.3																																												

一次評価

一次評価結果	指定管理者	61.6/ 100	主管課	60.0/ 100
アピール点	* LINEで予約・支払いができる仕組みを導入したことで、一部のお客様から手続きが簡単になったとコメントをいただいた。また、窓口・電話対応もLINEでの予約の説明をしたことで運営効率が向上した。 * 地域連携の取り込みを強化するために、周辺の大学へのアプローチや利用者からの紹介などを通じて潜在的なお客様(ピアノ教室等)へのアプローチを実施した。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	* 新たに購入したピアノの活用方法も含め、令和7年度からの新たな指定管理者に対し、今回のモニタリング評価の内容を引き継いでほしい。		* 前指定管理者から予約関連の運用ルール・支払い・キャンセルなどを引継ぎ、事前打ち合わせ時に作成する「ご利用者打合せ記録」を元に継続的な接遇品質の向上につなげた。 * FAZIOLIピアノの特性を活かし、新たな取り組みとして、子ども向けの「ピアノに触れる体験会」提案事業を実施し、演奏者が実際に音色の違いを説明するなど、楽器への興味を育むプログラムを企画した。 * 職員・スタッフ間の連携を密にし、利用状況・課題・改善案を共有する場を整備し、スタッフ全員が施設運営に主体的に関わる体制を構築した。シフト間での継続性を担保する為に予約状況や問い合わせ内容を共有できる「共有ノート」を作成し、誰でも最新情報を把握できるようにした。	
評価すべき点	* 複合施設で管理が難しい中、総合満足度は良好であり、前施設管理者から引き続き堅実な管理運営がなされている。 * 新しいピアノであるイタリア製名器「FAZIOLI」を活かした事業も好評であり、多彩な利用形態が可能であることが認知され、貸館事業においても幅広い用途の利用に応えている。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	B	B
総括	＊前指定管理者からの引継ぎを着実に行之、FAZIOLIピアノを活用した新たな取組みも実施し、好評を得ている。 ＊職員体制も職員の習熟度を配慮し工夫することで、サービス水準の維持に努めている。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	＊利用者の声を反映した管理運営を行い、利用率向上に努めていただきたい。 ＊人的マネジメントを強化し職員の継続雇用を目指すとともに、今後は更なる職員間の情報共有の徹底と業務の円滑な引継ぎに努めていただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.8 武蔵野市立かたらいの道市民スペース				
施設主管課(最終一次評価者)	市民部 市民活動推進課				
指定管理者の名称	アクティオ株式会社				
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 88.1				
	＊「職員の対応」の全質問で、85％以上の満足度となり、特に、「職員の態度・マナー・言葉遣い」については、「満足」、「概ね満足」で92.9％を占めるなど、非常に満足度が高い。 ＊総合満足度については「満足」「概ね満足」の回答が90.5％であり、非常に満足度が高い一方で、「やや不満」の回答が2.4％確認された。				
施設利用状況	開館日数	293日			対前年度比
	施設	利用可能回数	利用回数	利用率	利用率 増減
	第1会議室	870	476	54.7％	62.7％ -8
	第2会議室	871	463	53.2％	62.4％ -9.2

一次評価

一次評価結果	指定管理者	60.0/ 100	主管課	60.0/ 100
アピール点	＊LINEで予約・支払いができる仕組みを導入したことで、一部のお客様から手続きが簡単になったとコメントをいただいた。また、窓口・電話対応もLINEでの予約の説明をしたことで運営効率が向上した。 ＊狭い空間ではあるが新しくチラシラックなどの什器を設置し、利用者様が気づきやすくなるように工夫した。そしてロビーやトイレのチェックを定期的に行い、整理整頓を心がけて気持ちよくご利用いただけるようにした。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	＊令和7年度からの新たな指定管理者に対し、今回のモニタリング評価の内容を引き継いでもらいたい。		＊前指定管理者から予約関連の運用ルール・支払い・キャンセルなどを引継ぎ、事前打ち合わせ時に作成する「ご利用者打合せ記録」を元に継続的な接遇品質の向上につなげた。 ＊職員、スタッフ間の連携を密にし、利用状況・課題・改善案を共有する場を整備し、スタッフ全員が施設運営に主体的に関わる体制を構築した。シフト間での継続性を担保する為に予約状況や問い合わせ内容を共有できる「共有ノート」を作成し、誰でも最新情報を把握できるようにした。 ＊前指定管理者のモニタリング評価内容を引継ぎ、小規模施設である利点を生かした利用者への細やかな配慮を心がけた運営を実施した。	
評価すべき点	＊アクセスの良さと小規模施設である利点を生かし、芸能劇場と一体的に効率的で適切な管理がなされている。 ＊会議室のみの施設にも関わらず、前管理者にはなかった地域の文化活動を支援する事業を実施するなど、独自色を出そうとしている。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	B	B
総括	＊職員・スタッフ間の連携強化と情報共有体制の整備を通じて、利用者サービスの質的向上を実現している。 ＊芸能劇場と一体管理を実施し、人員配置を工夫するなど適切かつ効率的にサービス提供をしている。 ＊ワークショップなど地域連携にも取り組みながら、適切に管理運営を行っている。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	＊利用者の声を反映した管理運営を行い、利用者満足度向上に努めていただきたい。 ＊人的マネジメントを強化し職員の継続雇用を目指すとともに、今後は更なる職員間の情報共有の徹底と業務の円滑な引継ぎに努めていただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.9 武蔵野市立武蔵野商工会館市民会議室(ゼロワンホール)			
施設主管課(最終一次評価者)	市民部 産業振興課			
指定管理者の名称	武蔵野商工会議所			
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 98.2			
	*全体的に「満足」「ほぼ満足」の回答がほとんどであった。			
	*「情報の提供」のすべての質問において、「満足」の回答が10%以上増加している。			
	*全体で「不満」と回答された項目はひとつもなく、「やや不満」という回答も昨年より減少し、すべての項目の合計で5.6%のみである。			
施設利用状況				
		令和7年度	令和6年度	対前年度比
	利用件数(件)	322	311	11
	利用コマ数(コマ)	476	461	15
	利用可能コマ数(コマ)	921	924	-3
	利用率(%)	51.7	49.9	1.8ポイント
	使用料(円)	3,603,200	3,613,100	-9,900

一次評価

一次評価結果	指定管理者	50.0/ 86	主管課	50.0/ 86
アピール点	* 商工会館1階にLED案内板を設置し、会議室の利用予定の案内を行っている。 * ホームページにて月別空き情報や利用に関する案内を掲載し情報提供している。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	* 情報提供の点では他と比べて満足度が若干低い ため、引き続き工夫していただきたい。 * 引き続き利用率の増加につながる取組みについて も検討されたい。		* 上記アピール点に記載の方法で情報提供を 継続する他、当所発行の会報誌に広告記事を 掲載し、会員等への周知を行った。 * ホームページを定期的に更新し、空き状況の 周知ができていた。	
評価すべき点	* 職員の対応に対して毎年高い評価を維持しており、心遣いへの感謝のコメントもあり、施設への高い満足度の要因となっている。 * 施設の老朽化に伴う突発的な設備不良にも迅速に対応し、利用者に対して迷惑がかかる状況を回避しながら運営ができていた。また、市への情報共有等も適時適切に行うことができていた。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	B	B
総括	* 利用者への丁寧な説明や対応に加え、災害時に備えた取組みを実施する等、運営上の事故もなく、利用者の安全確保に努めている。 * 指定管理者で対応が可能な軽微な施設整備・不具合対応は迅速に行われている。また、市に報告すべき修繕等については、適時適切に報告が行われており、利用者の利便性等に配慮した施設や備品などの管理がなされている。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	* 商工会会員にとどまらず広く市民に向けた情報発信にも取り組み、引き続き情報提供について工夫していただきたい。 * 引き続き、予約手続きの利便性向上等、利用率の増加につながる取組みについても検討されたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	№10 武蔵野市立自然の村																						
施設主管課(最終一次評価者)	子ども家庭部 児童青少年課																						
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団																						
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 100.0 *総合満足度100%を達成することができたほか、多くの項目において90%以上の満足度を得ることができた。 *「広報誌・チラシ・ポスター・インターネットなどの情報はわかりやすいか」の項目について満足度81.3%、やや不満3.6%と最も低い評価であった。自然の魅力や最新情報についてWEBサイトや広報誌を充実させるなどで対応していきたい。																						
	<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="3">令和7年度</th><th colspan="2">対前年度比</th></tr><tr><th>貸出可能延部屋数</th><th>延利用部屋数 (利用人数)</th><th>稼働率</th><th>稼働率</th><th>増減</th></tr><tr><td>中央棟</td><td>1,348</td><td>587 (1,820)</td><td>43.5%</td><td>33.5%</td><td>10.0</td></tr><tr><td>キャビン棟</td><td>2,236</td><td>496 (2,223)</td><td>22.2%</td><td>3.7%</td><td>18.4</td></tr></table> ※貸出可能延部屋数、延利用部屋数は市を含む主催事業を含む。 ※令和6年度においては、キャビン地区は熊の出没によりR6.7.20より閉村。 ※令和7年8月18日から令和8年2月27日の期間、浄化槽設備改修工事によりキャビン地区のみ閉村。		令和7年度			対前年度比		貸出可能延部屋数	延利用部屋数 (利用人数)	稼働率	稼働率	増減	中央棟	1,348	587 (1,820)	43.5%	33.5%	10.0	キャビン棟	2,236	496 (2,223)	22.2%	3.7%
	令和7年度			対前年度比																			
	貸出可能延部屋数	延利用部屋数 (利用人数)	稼働率	稼働率	増減																		
中央棟	1,348	587 (1,820)	43.5%	33.5%	10.0																		
キャビン棟	2,236	496 (2,223)	22.2%	3.7%	18.4																		

一次評価

一次評価結果	指定管理者	69.2/ 98	主管課	67.6/ 98
アピール点	＊熊対策電気柵の設置に備え、主管課と協力して森林伐採等をはじめとする整備を行った。リモートで画像を確認できるトレイルカメラを15台設置して監視体制を整えた。月3回以上柵の見回りを行い、電気柵の故障や不具合が出た場合は迅速に対応した。その結果、今年度は熊の侵入や施設の破損がなく、施設を安全に管理運営することができた。 ＊熊対策電気柵の設置に伴い、「熊対策マニュアル」を主管課や熊対策専門家の意見、全国自治体のものを参考に自然の村独自の物を作成した。熊が寄り付かないための予防策のほか、熊の生態・対策の知識や情報収集、緊急時の対応フローなどを盛り込み、運用している。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	＊令和6年度から新たに始めた年間プログラムの発行やLINEアカウントを活用し、引き続き稼働率の向上に努めていただきたい。 ＊熊対策については、引き続き必要な対策をとっていただくとともに、適時適切に情報を発信いただきたい。		＊令和7年度も年間プログラムを発行し、LINE等で熊対策について周知することで、安全に利用できることをPRした。また、アウトドアカレッジや自然の村の利用促進バス運行等の主催事業でも積極的に活用することで、稼働率向上に努めた。 ＊熊対策マニュアルの作成や電気柵のチェック体制の整備、ペアドッグの巡回(年2回)、内部スタッフ向けの熊対策講習会の実施など、昨年度に引き続き必要な対策を講じている。また、各種対策や熊出没状況をHPに掲載するなど、適時適切な情報発信に努めている。	
評価すべき点	＊施設の稼働率が令和5年度水準に回復している点は評価できる。 ＊安心して施設を利用できるよう、必要な対策(熊対策マニュアルの作成、電気柵のチェック体制の整備、ペアドッグ巡回等)を講じ、HPや窓口で情報発信に努めたことは評価できる。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	A (期待以上の優れた成果をあげている。)	B	B
総括	※利用者アンケートの結果を踏まえた施設運営及びサービス提供や利用者目線に立った施設整備等を行ったことで、総合満足度は100%と非常に高く、全ての項目で高い満足度を得ている。 ※利用者が安心して施設を利用できるよう、熊対策電気柵や野生動物撃退装置、トレイルカメラの設置、ペアドッグによる巡回や熊対策マニュアルの作成、HPや窓口での情報発信などハードとソフトの両面から様々な対策を講じた結果、施設稼働率が令和5年度水準まで回復している。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	※引き続き利用者にとってわかりやすい情報発信となるよう、工夫していただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.11 武蔵野市立0123吉祥寺		
施設主管課(最終一次評価者)	子ども家庭部 子ども子育て支援課		
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野市子ども協会		
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 99.1		
	＊職員の丁寧で親しみやすい対応や、安心して過ごせる環境が高く評価されており、施設が保護者の支えや交流の場として満足度が高くなっている。 ＊設備面の改善や開館時間の延長、イベントの内容、情報発信や防犯面での充実を求める声が見られる。		
施設利用状況	(単位:人)		
	年度	令和7年度	令和6年度
	来館者総数	11,601	10,954
	市民来館者数	11,526	10,905
	市外来館者数	75	49
	1日平均来館者数	46.0	43.5

一次評価

一次評価結果	指定管理者	64.8/ 100	主管課	61.6/ 100
アピール点	＊日々の関わりや閉館後の振り返りを継続したことで情報共有が円滑になり、利用者への対応の質の底上げが図られた。実際に、気軽に声をかける利用者や相談につながるケースが増えていく。また、ひろば利用のリピート率向上にも繋がった。 ＊広報の工夫(SNS・チラシ)や直接的な声かけ、Googleフォームの活用による申込フォームの活用等申込方法の整理により、催しの認知拡大と参加促進につながった。また、SNSによる情報発信では伝えたい内容をスピーディーかつ分かりやすい投稿内容の工夫により、参加に繋がる動きがみられた。 ＊こども家庭センター内で統一した相談記録様式の記載方法を工夫し、関係機関との連携を継続したことで、支援が必要な親子を適切なタイミングでつなぐケースが増え、切れ目のない支援体制の強化につながった。 ＊子ども協会内での連携事業として他施設の見学を実施し、スタッフの子育て支援に関する地域情報の収集と理解の向上を図り、来館者サービスの向上に繋がった。 ＊「むさしののびのびプロジェクト」の周知の強化や妊娠期・外国籍親子など、多様なニーズに応じた取組みを継続し、少数派の子育て家庭への支援の充実を図った。 ＊0123施設内での主任会議を実施し、事業運営に関する具体的な課題共有と改善の提案を行った。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	＊ひろばの利用につながらない方へのアプローチについて、令和6年度に始めたペアレントトレーニングのブラッシュアップ等を通じて強化していただきたい。		＊3、4ヶ月健診でのひろば周知やコミセン親子ひろば等のアウトリーチ活動を実施するとともに、少数派の子育て家庭が参加しやすい親子ひろばを実施。これによりスタッフとの関係づくりを図り、ひろばへ足を運びやすい環境づくりを進めた。 ＊ペアレントトレーニングなどの相談事業や講座については、未就学児の保護者が参加できるよう対象年齢を拡大し、これまで施設利用がなかった家庭が施設を利用するきっかけとなった。同時に次年度以降の開催方法についても検討している。	
評価すべき点	＊市内子育て支援拠点との連携を強化するため、三駅圏での「エリア連絡会」発足に尽力した。 ＊ひろば内での積極的な声掛けや丁寧な傾聴により、話をしやすい環境がつけられている。 ＊0123吉祥寺が出張して実施しているコミセン親子ひろば(本町コミセン)では海外にルーツのある方も参加しやすいよう工夫しており、0123施設来所のきっかけになっている。英語ができるボランティアをよび日本語を話せない方の通訳をしたり、MIAにつなげている。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	A	A
総括	*SNSにおける情報発信の工夫や申込フォームの活用により、催しの認知拡大や申込みにおける利用者の負担軽減を図っている。 *ひろば内でのスタッフの積極的な声掛けについて利用者からも非常に評価されており、話をしやすい、足を運びやすい環境づくりが進められている。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	*利用者がイベント情報などを得やすい環境を整えるため、ホームページ等の見やすさの向上等の工夫をしていただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.12 武蔵野市立0123はらっぱ			
施設主管課(最終一次評価者)	子ども家庭部 子ども子育て支援課			
指定管理者の名称	公益財団法人武蔵野市子ども協会			
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度		96.2	
	* スタッフの対応については話しやすさ、親しみやすさ、相談のしやすさ等で高い満足度の評価を得ている。			
	* 建物の清潔、遊具の豊富さ、設営の工夫、催しの内容に於いて、高い満足度の評価を得ている。			
	* SNSによる情報提供についての評価を得ている。			
	* 猛暑における夏期の開館時間延長は評価を得ている。			
施設利用状況	(単位:人)			
	年度	令和7年度	令和6年度	対前年度比
	来館者総数	19,083	18,435	648
	市民来館者数	18,912	18,260	652
	市外来館者数	171	175	-4
	1日平均来館者数	77.9	75.2	2.7

一次評価

一次評価結果	指定管理者	62.8/ 100	主管課	57.6/ 100
アピール点	＊スタッフそれぞれの個性を生かしたアプローチで利用者に丁寧に関わり、一人一人の不安や喜びを受け止めながら関係を深めることで、利用者が安心して過ごせる環境の質が向上した。また、子育てについての相談相手としてのスタッフの役割を果たした。 ＊定期的なケース会議を実施し、利用者についての情報をスタッフ間で共有したことで、それぞれの角度から利用者にアプローチすることができ、必要に応じて適切に他機関につなぐことができた。 ＊「むさしののびのびプロジェクト」の茶話会(ちゃわかい)の会場を0123はらっぱに固定し、各月で実施したことで、参加者の定着につながった。 ＊イベント時における未就学児の受入、4・5歳児親子の相談日の設定、小学生のお仕事体験等、対象外になった親子が来館できる機会を提供したことで、このとり学級の実施による妊娠前から学童期までの継続した子育て支援につながった。 ＊スタッフがファシリテーターとして、参加者同士話をする中で自ら気づきを促す取り組みを行い、講座終了後のひろばでの利用者同士のつながりを援助した。(はらっぱDE井戸端ばなし) ＊4・5歳の親が気軽に来館できるように、定期的にひろばに訪れる機会を提供した。(編み物クラブ「もくもくの日」) ＊つとめ事業での足型スタンプのプレゼントを行い、講座参加に連続性を持たせることを意識し、ひろばでの利用者同士の交流につながる工夫を行った。(0歳ひろば)			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	＊令和6年度から試行を始めたInstagram等を活用し、インターネットでの情報提供における満足度の向上に努めていただきたい。 ＊ひろばの利用につながらない方へのアプローチについて、令和6年度に始めたペアレントトレーニングのブラッシュアップ等を通じて強化していただきたい。		＊Instagramの本格実施に伴い、タイムリーな情報を提供するよう努めた。 ＊講座を講師に委託するだけではなく、スタッフも運営や進行に携わりペアレントトレーニングを実施し、保護者が子育てに関する日頃の悩みを解決するきっかけとなった。また、講座終了後も共に子育てをする仲間としての関係づくりの一役を担った。	
評価すべき点	＊市内子育て支援拠点との連携を強化するため、三駅圏での「エリア連絡会」発足に尽力した。 ＊ひろば内での積極的な声掛けや丁寧な傾聴により、話をしやすい環境がつけられている。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	A	A
総括	*丁寧な関わりにより、利用者にとって話しやすく、安心して過ごすことのできる環境づくりを進めている。 *館内の掲示やInstagramの本格実施等による情報提供を工夫することで、アンケートにおける満足度も高いものとなっている。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	*盗難が発生しているので、施設内外における防犯対策を徹底するとともに、利用者に対しても各自が防犯意識を持っていただけるような啓発を工夫していただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	№13 武蔵野市立高齢者総合センター(社会活動センター)																	
施設主管課(最終一次評価者)	健康福祉部 高齢者支援課																	
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野市福祉公社																	
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 85.3																	
	* 総合満足度は高い水準を維持している。 * 大規模改修によりリニューアルされた施設・設備について、安全性・快適さといった側面で高評価となっている。また、清掃も行き届いており安心して利用できる施設として評価されている。																	
施設利用状況	(単位:人) <table><tr><td></td><td>令和7年度</td><td>令和6年度</td><td>対前年度比</td></tr><tr><td>年間講座受講者数</td><td>8</td><td>—</td><td>8</td></tr><tr><td rowspan="2">半年・特別短期講座 受講者数</td><td>(上半期) —</td><td>(上半期) 181</td><td>-181</td></tr><tr><td>(下半期) 616</td><td>(下半期) 136</td><td>480</td></tr></table> ※令和6年度大規模改修により年間及び半年講座は休止。 7月からの工事期間中は他の公共施設で特別短期講座を開催した。 ※令和7年度は大規模改修により半年講座の上半期は休止。10月より再開をした。				令和7年度	令和6年度	対前年度比	年間講座受講者数	8	—	8	半年・特別短期講座 受講者数	(上半期) —	(上半期) 181	-181	(下半期) 616	(下半期) 136	480
	令和7年度	令和6年度	対前年度比															
年間講座受講者数	8	—	8															
半年・特別短期講座 受講者数	(上半期) —	(上半期) 181	-181															
	(下半期) 616	(下半期) 136	480															

一次評価

一次評価結果	指定管理者	79.6/ 98	主管課	62.8/ 98
アピール点	＊社会活動センター講座において、利用者の利便性向上及び効率的な事業運営のため、令和7年度よりICカードによる受講者の自動出席管理、WEBからの講座申込を導入した。特にWEBからの講座申込は、申込全体の半数(609件中300件)を占める結果となった。これは、ハガキ等の用意が不要となり、スマートフォンを利用している方や受講申込期間中に来館できない方への負担軽減及び手軽な申込につながった。 ＊希望者へ楽器を貸し出す講座(ウクレレ)を新設した。 ＊市民交流スペースへ公衆無線LANを活用した無料利用ができる端末(iPad)を設置し、デジタルデバйд解消の一助となった。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	＊大規模改修工事後の事業についてはワーキング等での検討内容も踏まえ、さらなる講座内容の充実を期待したい。		＊検討ワーキングで定められた「高齢者の社会参加に重点を置く」という施設の方針をもとに、フレイル予防などを目的とした内容へ移行した。 ＊リニューアルオープンを機に、身体能力の維持のための講座と生きがい探しにつながる講座を分けて設定し、幅広い高齢者の方がそれぞれのニーズにあわせて参加できるよう工夫を行った。	
評価すべき点	＊公設の社会活動センターとして、講座については初心者向け講座や、運動強度の弱い高齢者向けの体操等の講座を設定するなどの工夫を行い、民間のカルチャーセンターと差別化を図り、高齢の市民にとってより生活に密着したニーズを重視して利用者の社会参加や満足度の向上に努めている。 ＊WEB申込受付やデジタルサイネージを導入し、さらに多くの方へ情報を届くようになった。また、講座受講者へICカードを配布し受講履歴の確認をしやすいように業務の効率化にもつなげることができている。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	B	A
総括	※ICカードによる受講者の自動出席管理、WEB申込、デジタルサイネージの導入により、利用者の利便性向上及び業務の効率化につながっている。 ※ワーキングでの検討を踏まえ、「高齢者の社会参加」の機会という方針に沿って、初心者向け講座や新規講座などを設定し幅広い高齢者の方が参加できるよう運営している。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	※引き続き利用者のニーズにあわせた講座を検討するとともに高齢者の社会参加の機会を提供するという運営目的の周知を図られたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.14 武蔵野市立高齢者総合センターデイサービスセンター														
施設主管課(最終一次評価者)	健康福祉部 高齢者支援課														
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野市福祉公社														
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 86.0														
	＊多くの項目において高い評価をいただいた。 ＊説明や職員の対応、意見の述べやすさに関する項目のうち「問い合わせ・質問に対する返答・案内・説明・職員はよき相談相手か」の項目では8割満足頂いているが、他では少し満足度が下がった。職員個々の対応差や認知機能低下による理解力も係ると思われるが、対応技術の向上などを通してより良いサービスに繋げたい。 ＊入浴サービスの満足度がやや低い点についてはできるだけ多くの利用者の清潔保持及び身体状況の観察をするためお一人週2回までとしている点や身体状況等により湯船に浸かる時間が数分程度であることや、シャワー浴になったりすることが影響しているのではないと思われる。 ＊地域の団体・グループと連携については、世代間交流を実施し、皆さん大変喜ばれていた。地域団体ではないが教員免許取得のための実習生を多く受け入れたが、地域との連携という認識に至らず満足度がほかの項目に比べて低くなっている。														
施設利用状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>令和7年度</th><th>令和6年度</th><th>対前年度比</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施日数(日)</td><td>308</td><td>306</td><td>2</td></tr> <tr> <td>利用延人数(人)</td><td>8,004</td><td>7,951</td><td>53</td></tr> </tbody> </table> ※R6.7.13～R7.7.18 大規模改修により仮施設にて運営				令和7年度	令和6年度	対前年度比	実施日数(日)	308	306	2	利用延人数(人)	8,004	7,951	53
	令和7年度	令和6年度	対前年度比												
実施日数(日)	308	306	2												
利用延人数(人)	8,004	7,951	53												

一次評価

一次評価結果	指定管理者	60.4/ 98	主管課	58.8/ 98
アピール点	*今年度は大規模改修による仮施設から本施設への移転に伴うご利用者の負担が最小限になるようご利用者・ご家族・関係機関への周知・説明を丁寧に行い、大きなトラブルなく事業継続ができた。 *移転後の施設紹介も含めて周知営業活動を行い新規利用者獲得に一定の効果はあった。また、医療ニーズの高い方、重介護度の方やキーパーソンに課題がある方なども積極的に受け入れた。しかし、入院・入所・逝去等終了者も多く安定した稼働に繋がらないのが現状であった。 *個別機能訓練のニーズが高く、希望者は積極的に受け入れた。また個別性に合わせた訓練内容、外出機能訓練を2回実施し訓練への意欲を大いに引き出した。 *意見や苦情等に関しては、ご利用者の超高齢化及び認知機能の低下等により、なかなか意見箱等の活用は難しい事情があるため、家庭訪問(個人面談)を継続的に実施し、来所面談の際はデイサービスも見学していただいた。 *試験運用していた外出を伴う個別機能訓練を本格的に実施し、桜の季節には歩行訓練を兼ねてお花見を実施した。 *ひな祭り行事に世代間交流を取り入れ近隣小学生と交流を実施した。 *利用者本人への支援だけに留まらず、特に高齢夫婦など世帯まとめて支援が必要なケースが増えており関係機関と情報を密にして対応した。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	*大規模改修後の施設においても安全な運営を継続し、環境の変化に伴う利用者への影響が最小限になるよう努めていただきたい。		*大規模改修後の施設への移転時には利用者や関係者に丁寧に説明を行い、大きな混乱なく実施し営業を再開した。	
評価すべき点	*医療ニーズや要介護度の高い民間事業者では受け入れ困難な利用者を積極的に受け入れ、公設のデイサービスとしての役割を果たしている。 *個別機能訓練として、外での歩行訓練を実施し利用者が少しでも楽しく訓練ができるように検討・実施することができた。 *本施設での再開をする際に、利用者がケガや誤飲をしないように職員間で再度確認と情報共有を徹底している。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	A	A
総括	*大規模改修による移転の際には利用者・関係者に丁寧に周知、説明を行い、利用者の負担を最小限にとどめながら事業を継続した。 *医療ニーズや要介護度の高い利用者の受け入れも積極的に行い、個人のニーズにあわせた支援を実施している。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	*さらに利用者のニーズに応じた事業を検討するとともに、地域団体等と連携を強化し稼働率の向上に努めていただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.15、16 武蔵野市立北町高齢者センター・武蔵野市立北町高齢者センターコミュニティケアサロン																																
施設主管課(最終一次評価者)	健康福祉部 高齢者支援課																																
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野市福祉公社																																
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 北町高齢者センターデイサービス 98.6 子育て支援広場 みずきっこ 97.9 〈北町デイ〉 *全体として非常に高い評価をいただいた。 *特に清掃、景観、食事メニュー、安全管理において満足度100%だった。 *感謝の言葉も多くいただき、ほとんどの利用者に満足いただいているという評価を得ている。 〈北町みずきっこ〉 *全体として非常に高い評価をいただいた。 *特に職員の服装、マナー、地域の情報で満足度100%だった。 *イベントや職員の対応、工夫等について評価の言葉を多くいただいている。																																
施設利用状況	○デイサービス <table><tr><td></td><td>令和7年度</td><td>令和6年度</td><td>対前年度比</td></tr><tr><td>実施日数(日)</td><td>292</td><td>294</td><td>-2</td></tr><tr><td>利用延人数(人)</td><td>6,900</td><td>6,469</td><td>431</td></tr></table> ○子育てひろば事業「みずきっこ」 <table><tr><td></td><td>令和7年度</td><td>令和6年度</td><td>対前年度比</td></tr><tr><td>実施日数(日)</td><td>242</td><td>243</td><td>-1</td></tr><tr><td>延利用人数(人)</td><td>4,782</td><td>4,446</td><td>336</td></tr><tr><td>行事実施回数(回)</td><td>154</td><td>180</td><td>-26</td></tr><tr><td>参加延人数(人)</td><td>1,724</td><td>1,872</td><td>-148</td></tr></table> ※延利用人数、参加人数ともオンラインと開館日の合計		令和7年度	令和6年度	対前年度比	実施日数(日)	292	294	-2	利用延人数(人)	6,900	6,469	431		令和7年度	令和6年度	対前年度比	実施日数(日)	242	243	-1	延利用人数(人)	4,782	4,446	336	行事実施回数(回)	154	180	-26	参加延人数(人)	1,724	1,872	-148
	令和7年度	令和6年度	対前年度比																														
実施日数(日)	292	294	-2																														
利用延人数(人)	6,900	6,469	431																														
	令和7年度	令和6年度	対前年度比																														
実施日数(日)	242	243	-1																														
延利用人数(人)	4,782	4,446	336																														
行事実施回数(回)	154	180	-26																														
参加延人数(人)	1,724	1,872	-148																														

一次評価

一次評価結果	指定管理者	70.4/ 98	主管課	59.6/ 98
アピール点	＊施設管理では、老朽化により設備の故障、不具合が多く発生したが、主管課と相談し適切に対応するとともに、「修繕の際の相見積もりの実施」や「安価で効率的な設備管理方法への切替、事業者の変更」を行い管理費の縮減に努めた。 ＊デイサービスの運営では、サービスの質向上と稼働率向上につなげるため、課題ごとのワーキングを立ち上げ、取組みを行った結果、市民、関係機関からの相談が増加し、R7年度新規利用者数46名(R6年度33名)、登録者数R7年度2月90名(R6年度3月70名)、稼働率R7年度2月実績95.9%(R6年度3月実績78.1%)と大幅に数字を伸ばすことができた。 ＊子育て支援広場みずきこの運営団体が抱える課題について、解決方法の提案や助言を行い、会計の管理方法や危機管理を見直し、事業の透明性を強化した。 ＊令和6年度まで年1回だった地域向けイベントを年2回実施し、地域住民へ北町高齢者センターの周知に努めた。 ＊ボランティア獲得のため、ホームページの見直しやチラシ配布、ボランティアセンターへの積極的な情報提供により新たにボランティア5名を得ることができた(令和6年度0人)。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	＊引き続き、稼働率の向上、新規利用者増を目指し、収支改善に努めていただきたい。		＊利用者のニーズに細かく対応するため、ワーキングを立ち上げ、事業の見直しや周知活動に力をいれたことで、新規利用者は増加し稼働率も大幅に向上している。	
評価すべき点	＊介護報酬の増収を図るため、積極的に個別機能訓練やイベントを実施し、前年度以上の新規利用者があった。結果として十分な介護報酬の獲得には至らなかったが、利用者の心身状態の維持・改善に貢献した。 ＊利用者に寄り添った対応だけでなくご家族やケアマネジャーへの報告も細かく行ったことで、アンケートにおいても非常に高い評価をいただくことができている。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	S	S
総括	*ワーキングを立ち上げ、事業の見直し、サービスの質の向上を図ったことで、利用者満足度は非常に高い水準を保っている。 *収支改善のため経費削減に取り組みながら、地域イベントへの参加など周知活動も実施し、新規利用者の増加、稼働率の向上、ボランティアの獲得につながっている。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	*引き続き利用者に寄り添った運営を実施し、地域とのつながりを継続し周知に努めていただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.17 武蔵野市桜堤ケアハウス																																									
施設主管課(最終一次評価者)	健康福祉部 高齢者支援課																																									
指定管理者の名称	社会福祉法人 武蔵野																																									
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 89.5																																									
	*利用者満足度は89.5%と高評価を得ており「困ったときに対応してくれるか」「職員はよき相談相手か」については満足度が高い。一方で4月から看護師が配置され人員は充足しているが、職員の人数や配置場所に関して10.5%の方が不満と回答しており、日曜や祝日に職員が不在のために体調不良時や困った時に相談が出来ない等の声も聞かれている。																																									
	*全体的に昨年に比べ高評価となっているが、アンケートに記入することが難しい、質問の内容がわからないなど半数以上の方に職員が付き添って聞き取りを行った。また、全部3でいいまたは4でいいと答える方もおり、アンケートの内容を読み質問に答えることが難しくなっている。																																									
施設利用状況	○年齢別入居者数 <table><tr><th>年齢</th><th>60～64</th><th>65～69</th><th>70～74</th><th>75～79</th><th>80～84</th><th>85～89</th><th>90～94</th><th>95～99</th><th>100～</th><th>合計</th></tr><tr><td>令和7年度</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>0</td><td>3</td><td>3</td><td>9</td><td>2</td><td>1</td><td>21</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>0</td><td>4</td><td>6</td><td>9</td><td>1</td><td>1</td><td>24</td></tr></table> ○平均年齢 <table><tr><th>区 分</th><th>男</th><th>女</th><th>全体</th></tr><tr><td>平均年齢(才)</td><td>84.11</td><td>96.23</td><td>91.22</td></tr></table>	年齢	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計	令和7年度	0	0	3	0	3	3	9	2	1	21	令和6年度	0	1	2	0	4	6	9	1	1	24	区 分	男	女	全体	平均年齢(才)	84.11	96.23	91.22
年齢	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計																																
令和7年度	0	0	3	0	3	3	9	2	1	21																																
令和6年度	0	1	2	0	4	6	9	1	1	24																																
区 分	男	女	全体																																							
平均年齢(才)	84.11	96.23	91.22																																							

一次評価

一次評価結果	指定管理者	66.8/ 100	主管課	65.2/ 100
アピール点	*昨年度のクラスター発生を踏まえ、感染防止策を継続し集団感染を防いだこと。 *新たに配置された看護師と共に、入居者の健康管理や日常生活の中でのワンポイントアドバイスを行った。また、外気温上昇に伴う熱中症対策を施設全体として取り組み、水分補給やこまめな室温管理を全入居者に実施した。薬の自己管理が難しい方については介護サービスの利用が開始になるまでは、看護師が薬の仕分けやセットを行い、適切に内服出来るよう支援した。それでも内服が難しい方については、相談員が出動後に内服確認を行った。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	*入居者の支援にあたっては、引き続き関係機関との情報共有を図られたい。 *感染症対策について、必要に応じてルールの見直しをしていただきたい。		*入居者支援に関しては、MCS(地域包括ケア・多職種連携のためのコミュニケーションツール)の活用やサービス事業者訪問時の情報共有により共通認識を持って支援したほか、適宜病院への受診、適切な治療につなげた。 *感染症対策については職員・入居者共に黙食、パーテーション設置、マスクを着用し感染対策を継続実施しクラスター発生を防ぐことができた。	
評価すべき点	*入居者の様々な状態像によって対応方法を変え、臨機応変に丁寧に対応しており、必要な治療に繋いでいる。また、入居者の家族や保証人への情報提供に努め、面会を増やすなど成果を出している。 *非常食提供訓練や防災備品の購入検討など防災への意識が高く、入居者と共に訓練を行うことで入居者の不安の軽減にも繋がっている。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	B	B
総括	*新たに配置した看護師による入居者の健康管理や日常生活の支援などサービスの向上に取り組んだほか、感染症や熱中症対策も適宜適切に実施している。 *入居者の様々な状態像にあわせた臨機応変な丁寧な対応に加え、入居者の家族や保証人との情報共有にも努めている点がアンケートの高い満足度につながっている。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	*事案が増えている外出先での転倒に対し、個人の状態を確認するなど必要な対応を実施されたい。 *都の実地検査における助言を踏まえ、契約事務や小口現金事務について、マニュアル整備等を検討されたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.18 武蔵野市立みどりのこども館						
施設主管課(最終一次評価者)	健康福祉部 障害者福祉課						
指定管理者の名称	社会福祉法人 武蔵野						
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 96.2						
	*昨年度は97.1%で1ポイント低下しているものの満足度は高い結果であった。 *「職員の対応」「建物・設備・備品等の管理」については、特に高い評価を得ている。						
施設利用状況	○地域療育相談室ハビット (単位:件)						
	療育相談	内容	令和7年度	令和6年度	対前年度比		
		新規相談	313 (うちサテライト 24件)	372 (うちサテライト 7件)	-59 (うちサテライト 17件)		
		受理面接(初回相談)	196 (うちサテライト 10件)	221 (うちサテライト 5件)	-25 (うちサテライト 5件)		
		継続相談	3,610 (うちサテライト 998件)	3,557 (うちサテライト 1,039件)	53 (うちサテライト -41件)		
	施設訪問	保育園・幼稚園	68	83	-15		
		その他(学校等)	134	136	-2		
	発達健診	発達健診	166(15回)	166(15回)	0		
	医療相談	医療相談	31(18回)	23(18回)	8		
	計画相談	計画相談	47	34	13		
		モニタリング	716 (うちサテライト705件)	749 (うちサテライト728件)	-33 (うちサテライト-23件)		
	○こども発達支援室ウィズ 年齢別利用児数 (単位:人)						
		3歳	4歳	5歳	6歳	合計	平均利用者数
	令和7年度	5	8	8	0	21	16.7人/日
令和6年度	8	9	5	0	22	16.1人/日	
対前年度比	-3	-1	3	-	-1	0.6人/日	
○おもちゃのぐるりん 年齢別利用児数 (単位:人)							
	令和7年度	令和6年度	対前年度比				
0歳	670	674	-4				
1歳	967	1,246	-279				
2歳	828	770	58				
3歳	654	536	118				
4歳	487	651	-164				
5歳	568	483	85				
6歳	257	230	27				
その他	88	107	-19				
合計	4,519	4,697	-178				

一次評価

一次評価結果	指定管理者	65.2/ 100	主管課	65.2/ 100
アピール点	*ウィズで不定期利用枠での受け入れを継続し稼働率8割超を維持。 *申し込み数の減少という外部要因だけでなく、教育支援センター・ハビットサテライト・ハビット間の役割分担を明確化するなどの内部の取組みにより、長年の課題がであったハビットの待機日数が大幅に減少した。(昨年度最長40日→今年度最長6日) *ぐるりんではInstagramの投稿を継続して行い、フォロワー数が昨年度の3倍近くにまで増加。 *きょうだい児への支援として、保護者向け講演会を実施した。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	* 保健センターの改築も見据え、より効率的かつ効果的な運営や方策を市と検討されたい。 * 個人情報の取扱いについては十分留意されたい。		* 保健センター改築後の方向性を踏まえ、教育支援センター・ハビットサテライト・ハビット間の役割分担を明確化したことが、ハビットの初回相談待機日数の短縮につながっている。また、5歳児健診検討会議にも参加し、関係機関との連携強化に向けた意見交換を行っている。 * 個人情報の管理体制を定期的に見直しながら適切に運用しており、令和7年度に事故は発生していない。	
評価すべき点	*初回相談の待機期間が長いという、長年の課題が解決傾向にあり、療育相談機関としてより市民にとってアクセスしやすい存在となっている点が、評価できる。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	A (期待以上の優れた成果をあげている。)	A	S
総括	* 教育支援センター・ハビットサテライト・ハビット間の役割分担を明確化したことにより、ハビットの療育相談について、初回相談の待機日数が短縮傾向にあり、より相談しやすい体制が整った。 * ウイズは不定期利用枠での受け入れにより高い稼働率を維持している。 * ぐるりんは利用者SNSによる情報提供において成果を上げている。 * 施設全体の職員の待遇、相談対応に対する評価は非常に高く、利用者の満足度の向上につながっている。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	* 保護者交流の機会の拡充について検討されたい。 * 地域の幼稚園・保育園との連携の強化について検討されたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.19 武蔵野市障害者福祉センター			
施設主管課(最終一次評価者)	健康福祉部 障害者福祉課			
指定管理者の名称	社会福祉法人 武蔵野			
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度		81.8	
	*仮施設へ移転し、設備が一新したことで、満足度が大きく向上した。 *移転によって、三鷹駅に近い立地となり利便性が向上し、満足度の向上に寄与した。			
施設利用状況	○デイサービス			
	年度	令和7年度	令和6年度	対前年度比
	延べ人数(人)	1,436	1,209	227
	○リハビリ専門相談(住宅改修、補装具等)			
	年度	令和7年度	令和6年度	対前年度比
件数(件)	1,374	1,260	114	
	○視覚障害相談			
	年度	令和7年度	令和6年度	対前年度比
	件数(件)	423	421	2

一次評価

一次評価結果	指定管理者	63.6/ 100	主管課	63.6/ 100
アピール点	＊リハビリ相談(補装具、住宅改修、福祉用具など)の専門相談の件数は、大幅に増加した。 ＊生活介護の稼働率が向上した。 ＊生活介護では、看護師の指導の下、衛生管理を徹底し、「一日外出」や「お菓子作り」、「昼食作り」など、利用者の人気の高いプログラムを再開し、利用者の満足度を上げることができた。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	＊地域連携について、引き続き適切に実施するとともに、本センターの取組みについての積極的な情報発信に努めていただきたい。 ＊令和7年度から移転する仮施設においても安定した事業運営を継続していただきたい。		＊地区社協の活動支援や、各種イベント等での啓発活動を、引き続き実施している。 ＊仮施設への移転及び移転後の運営は、問題なく行われており、利用者からも評価されている。	
評価すべき点	＊リハビリ相談の件数が増加し、身体障害者福祉センターとしての本来の機能を十分に果たしている。 ＊仮施設への移転が順調に行われた。移転の際に、職員の創意工夫による誘導サインの導入やホームページのリニューアル、各種設備の更新などに取り組み、利用者の満足度が向上した点を評価する。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	B	B
総括	*仮施設への移転を契機に職員の創意工夫による誘導サインやホームページのリニューアル、設備の更新などに取り組み、利用者数、利用者満足度ともに大きく上昇している。 *高次脳機能障害者の「土曜サロン」や「家族サロン」、視覚障害者に対する「地域生活学習会」などを行い利用者からは高い評価を得ている。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	*自立訓練(機能訓練)について、安定して利用者数を維持できるよう、さらに医療機関などと連携を深めていただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.20 武蔵野市放課後等デイサービス施設(パレット)																									
施設主管課(最終一次評価者)	健康福祉部 障害者福祉課																									
指定管理者の名称	社会福祉法人 武蔵野																									
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度		81.3																							
	*総合満足度ではやや不満・不満の回答がなく、満足度は高い結果であった。 *個別項目でも職員対応など高評価の項目があり、施設運営全般において評価されている。																									
施設利用状況																										
	<table><tr><td>年度</td><td>令和7年度</td><td>令和6年度</td><td>対前年度比</td></tr><tr><td>利用延人数(人)</td><td>1,918</td><td>1,713</td><td>205</td></tr><tr><td>(計画利用延人数(人))</td><td>(2,342)</td><td>(2,271)</td><td>(71)</td></tr><tr><td>出席率※¹(%)</td><td>81.8</td><td>75.4</td><td>6.4</td></tr><tr><td>稼働率※²(%)</td><td>79.2</td><td>70.5</td><td>8.7</td></tr><tr><td>事業日数(日)</td><td>242</td><td>243</td><td>-1</td></tr></table> ※1 利用延人数/計画利用延人数 ※2 利用延人数/事業日数×利用定員数(10名)			年度	令和7年度	令和6年度	対前年度比	利用延人数(人)	1,918	1,713	205	(計画利用延人数(人))	(2,342)	(2,271)	(71)	出席率※ ¹ (%)	81.8	75.4	6.4	稼働率※ ² (%)	79.2	70.5	8.7	事業日数(日)	242	243
年度	令和7年度	令和6年度	対前年度比																							
利用延人数(人)	1,918	1,713	205																							
(計画利用延人数(人))	(2,342)	(2,271)	(71)																							
出席率※ ¹ (%)	81.8	75.4	6.4																							
稼働率※ ² (%)	79.2	70.5	8.7																							
事業日数(日)	242	243	-1																							

一次評価

一次評価結果	指定管理者	62.4/ 100	主管課	62.4/ 100
アピール点	*活動の質向上を目的に、地域団体との合同プログラムや学生ボランティアとの連携を実施した。 *パレットの支援検討会議(モニタリング)に計画相談担当者が参加し、利用児の状況や支援目標を共有することで、より細やかで幅広い視点からの支援を行った。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	*引き続き、稼働率について維持、向上に取り組んでいただきたい。		*計画利用以外の方も含めた稼働率は前年度の75.3%から79.3%へと上昇した。引き続き、空き枠の削減に向けた取組みを通じて、稼働率の維持・向上に努めていく。	
評価すべき点	*アンケートでは、総合満足度が高く、個別項目でも職員対応など高評価の項目があり、施設運営全般において評価できる。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	A	B
総括	*デイサービス事業の実施においては利用者の状態に応じて、きめ細かく対応されている。連絡帳アプリの活用など、保護者への情報提供も充実している。 *地域との交流事業、保護者交流の機会について拡充している点も評価できる。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	*欠員状態が続いているため、安定的な事業運営のため、職員の確保に努めていただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.21～25 武蔵野市立武蔵野総合体育館・武蔵野市立武蔵野陸上競技場・武蔵野市立武蔵野軟式野球場・武蔵野市立武蔵野庭球場・武蔵野市立緑町スポーツ広場																																								
施設主管課(最終一次評価者)	教育部 生涯学習スポーツ課																																								
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団																																								
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 総合体育館:92.8/陸上競技場:92.2/軟式野球場:80.0/庭球場:66.0/緑町スポーツ広場:76.6																																								
	＊総合満足度は各施設において引き続き高い評価を得ている。庭球場については、人工芝の経年劣化に関する改修要望への対応が利用者の実感として十分に届いていないことが、評価に影響した主因と考えられる。 ＊各施設において、前回に引き続き「職員の対応」については満足度が非常に高い。 ＊総合体育館については、施設の老朽化が一定程度進行している状況にあるが、利用者目線に立った計画的な修繕の実施や設備面での逐次拡充に努めるとともに、施設のハード面における制約を係員の丁寧な対応や安全管理体制の整備といったソフト面の取組みで補っている。また、陸上競技場については、第三種公認に係る工事及び備品の拡充を実施し、トラック・水壕・競技用品を現行の陸上競技規則に準じた形で更新し、公式大会の開催が可能な施設として整備水準の向上を図っている。こうした取組みによって、特に高い利用者満足度を得ていると考えられる。																																								
施設利用状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th><th colspan="2">利用者数(人)</th><th rowspan="2">増減数</th><th rowspan="2">増減率</th></tr> <tr> <th>令和7年度</th><th>令和6年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合体育館</td><td>288,118</td><td>251,260</td><td>36,858</td><td>14.67%</td></tr> <tr> <td>陸上競技場</td><td>54,066</td><td>61,392</td><td>△ 7,326</td><td>△ 11.93%</td></tr> <tr> <td>軟式野球場</td><td>17,213</td><td>17,135</td><td>78</td><td>0.46%</td></tr> <tr> <td>庭球場</td><td>50,121</td><td>52,844</td><td>△ 2,723</td><td>△ 5.15%</td></tr> <tr> <td>スポーツ広場</td><td>17,073</td><td>17,542</td><td>△ 469</td><td>△ 2.67%</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>426,591</td><td>400,173</td><td>26,418</td><td>6.60%</td></tr> </tbody> </table> ※R8.2～3月 庭球場改修工事のため休場				施設名	利用者数(人)		増減数	増減率	令和7年度	令和6年度	総合体育館	288,118	251,260	36,858	14.67%	陸上競技場	54,066	61,392	△ 7,326	△ 11.93%	軟式野球場	17,213	17,135	78	0.46%	庭球場	50,121	52,844	△ 2,723	△ 5.15%	スポーツ広場	17,073	17,542	△ 469	△ 2.67%	合計	426,591	400,173	26,418	6.60%
施設名	利用者数(人)		増減数	増減率																																					
	令和7年度	令和6年度																																							
総合体育館	288,118	251,260	36,858	14.67%																																					
陸上競技場	54,066	61,392	△ 7,326	△ 11.93%																																					
軟式野球場	17,213	17,135	78	0.46%																																					
庭球場	50,121	52,844	△ 2,723	△ 5.15%																																					
スポーツ広場	17,073	17,542	△ 469	△ 2.67%																																					
合計	426,591	400,173	26,418	6.60%																																					

一次評価

一次評価結果	指定管理者	72.0/ 98	主管課	69.6/ 98
アピール点	＊東京オリンピックを契機として国内外で注目が高まる、街中の広場や公園で手軽に楽しめるパルクールやクライミングなどの都市型スポーツ(アーバンスポーツ)を市民が気軽に体験できる機会として、「Sports for All アーバンスポーツ」を開催した。当日は2,145名の来場者を集め、来場者アンケートにおける満足度は99.1%('とても良かった」「良かった」の合計)に達するなど、高い評価を得た。本イベントの特徴として、競技体験にとどまらない多角的な企画構成が挙げられる。高さ8mのクライミングタワーの設置やデジタル技術を活用したARスポーツの体験コーナーにより、スポーツとテクノロジーを融合した新鮮な体験機会を提供した。またトップレベルの選手によるパフォーマンス披露と直接交流の場を設けることで、競技の魅力をより身近に感じられる構成とした。さらに飲食フリースペースの設置やキッチンカーの来店により地域の飲食事業者との連携を図るなど、スポーツイベントの枠を超えた地域交流の場としても機能した。 ＊令和7年度における体育5施設の延べ利用者数は令和6年度と比較して26,418名増、主催事業参加者数は同3,969名増を達成し、利用促進の両面において伸長があった。これには、主催事業の内容・規模両面における継続的な充実が大きく寄与していると考えられる。スポーツ教室は年間ラインナップの拡充を図り、勤労者・障がいのある方などを対象とした事業を展開することで、これまで施設との接点が少なかった市民層の新規取り込みに取り組んだ。また、「Sports for All アーバンスポーツ」に代表される体験型・参加型の大規模イベントの実施により、従来のスポーツ施設利用者層を超えた幅広い市民の来場を促すことができた。 ＊施設運営面においては、大会キャンセル等による空き枠を個人利用枠・貸切枠として開放する仕組みや、屋外施設の利用可否情報をリアルタイムに近い形でWEB発信する体制により、利用機会の損失を抑え、利用頻度の向上を図った。さらに、陸上競技場における第三種公認取得に係る施設整備など、ハード面の環境改善が利用者の施設への信頼と満足度を高め、リピート利用の促進につなげることができた。 ＊大規模地震災害の発生時において、人命保護を最優先としつつ業務を継続し、施設運営の中断・復旧遅延を最小限に抑えることを目的として、「武蔵野総合体育館等業務継続計画(震災版)」を策定した。			

	主な事項	主な対応
前年度改善・要望事項への対応	※昨年度比で満足度が低下した陸上競技場と庭球場の満足度向上に向け、要因把握と改善に努めていただきたい。 ※今後もさらなる利用率向上に向けて、適切な情報発信を継続していただきたい。	※陸上競技場が81.4%から92.2%へ、庭球場が62.6%から66.0%へと、いずれも満足度を向上した。 陸上競技場は、トラック・競技設備の更新が利用環境の改善に直結し、満足度の大幅な向上につながったものと考えられる。庭球場は、令和8年2月より人工芝の全面張替工事を実施しており、自由記述欄で多く寄せられていた芝面への要望に応える形で改善を進めている。引き続き利用者の声を把握し、満足度のさらなる向上に努めていく。 ※WEB・SNS・館内掲示・市報等を通じた情報発信を継続するとともに、野外活動センターにおける公式LINEアカウントの開設など新たな広報手段の拡充を図った。こうした取組みの結果、令和7年度の延べ利用者数は前年度比26,418名増を達成しており、継続的な情報発信が利用促進に寄与したものと考えられる。引き続き利用者が情報を得やすい環境の整備に努めていく。
評価すべき点	※早朝・夜間を活用しての事業実施や気軽に参加できるプログラムの工夫など、利用者数の向上に努めている。 ※Sports for All事業では、新たにアーバンスポーツを取り上げ、第二期スポーツ推進計画の重点施策にも掲げる「新たなスポーツとの出会いの創出」を実現した。	

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	B	B
総括	※主催事業の拡充やハード面の環境整備、施設の利用可否情報をリアルタイムに近い形でWEB発信するといった利用者目線に立った取組みを実践しており、前年度を上回る利用者数の増加として数値に現れたと評価できる。 ※昨年度の改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項への対応が適切に行われており、利用者満足度の向上や、利用者が情報を得やすい環境の整備が進められている。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	※主催事業に対し、夏季等を開催する短期プログラムの開催数増が望まれているため、利用者ニーズに則した事業展開も検討していただきたい。 ※野外活動センターの公式LINEについて、利用傾向などを踏まえ、さらなる情報発信の拡充に努めていただきたい。 ※総合体育館大規模改修工事について、着工に向けた準備や休館期間中の事業の検討など、市と連携して進めていただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.26、27 武蔵野市立武蔵野プール・武蔵野市立温水プール																									
施設主管課(最終一次評価者)	教育部 生涯学習スポーツ課																									
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団																									
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 84.0																									
	＊モニタリング評価基準に定める満足度判断において「高い満足度を得ている」と評価された。項目別では「A.職員の対応」の全項目で高い満足度を得ており、受付対応・利用案内・安全管理といった日常的なサービスの質が利用者に広く評価されている結果といえる。施設の老朽化が一定程度進行する状況にあっても高い総合満足度が維持されていることは、ハード面の制約をソフト面の取り組みで補う運営姿勢が利用者満足度に直接反映されたものと推察される。 ＊「H.その他」の「バリアフリーへの配慮」は「利用者満足度の動向に注意が必要」と評価されており、障がいのある方や高齢者を含む多様な利用者が安心して施設を利用できる環境整備が課題として残る。																									
施設利用状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th><th colspan="2">利用者数(人)</th><th rowspan="2">増減数</th><th rowspan="2">増減率</th></tr> <tr> <th>令和7年度</th><th>令和6年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温水プール</td><td>116,758</td><td>104,731</td><td>12,027</td><td>11.48%</td></tr> <tr> <td>屋外プール</td><td>27,763</td><td>29,542</td><td>△ 1,779</td><td>△ 6.02%</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>144,521</td><td>134,273</td><td>10,248</td><td>7.63%</td></tr> </tbody> </table>				施設名	利用者数(人)		増減数	増減率	令和7年度	令和6年度	温水プール	116,758	104,731	12,027	11.48%	屋外プール	27,763	29,542	△ 1,779	△ 6.02%	合計	144,521	134,273	10,248	7.63%
施設名	利用者数(人)		増減数	増減率																						
	令和7年度	令和6年度																								
温水プール	116,758	104,731	12,027	11.48%																						
屋外プール	27,763	29,542	△ 1,779	△ 6.02%																						
合計	144,521	134,273	10,248	7.63%																						

一次評価

一次評価結果	指定管理者	71.6/ 98	主管課	68.4/ 98
アピール点	*需要の高い幼児向け水泳教室の定員拡充や時間帯ごとの利用者層に合わせた主催事業を展開することで利用者層の拡大を図った。 *新規利用者層への働きかけとして、オリンピックを招聘した水球イベントを開催し、競技としての水球の魅力を広く市民に発信した。また、トップアスリートのパフォーマンスを間近で体感できる機会を設けたことで、これまでプールと縁の薄かった層の来場を促し、新たなスポーツとの出会いの場を創出した。 *利用者満足度についても「満足」「概ね満足」の合計が85%に達しており、老朽化が進む施設においても職員対応の質の向上や備品の充実など、ソフト面の継続的な取組みが高い利用者満足度につながっている。 *令和7年度は、これまで以上に地域企業・近隣大学・スポーツボランティアと連携し、各種イベントを展開した。今後もこうした連携の輪をさらに広げ、地域に根差した施設運営を推進していく。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項		主な対応	
	*法令に基づいた定期点検に加え、利用者へ影響が大きい付帯設備の自主点検などを実施し、安心・安全を第一に、引き続き利用者の声が反映できるよう取り組んでいただきたい。 *教室開催頻度について、アンケート結果も踏まえ、利用者がより一層参加しやすい回数や定員等の検討に取り組まれたい。		*付帯設備の自主点検や利用者からの要望への取組みにより、アンケートの「建物・設備・備品等の管理」「安全管理体制」「利用者の意見の反映」の項目において、満足度を維持している。 *冬期の事業の拡充や通年開催、ワンデーレッスン形式への変更により、利用者が参加しやすい環境を整えた。	
評価すべき点	*早朝・夜間を活用しての事業実施や気軽に参加できるプログラムの工夫など、利用者数の増加に取り組んでいる。 *施設の老朽化が進む中、総合満足度は6ポイント上昇しており、事業や施設管理の工夫の成果が伺える。			

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	B (期待どおりの適正な運営が行われている。)	B	B
総括	*利用者アンケート結果をもとにした既存利用者のニーズへの対応や、新規利用者層拡大のための新規イベント、情報発信を行った成果が見られる。 *施設の老朽化は進んでいるが、昨年度改善事項としてあがった付帯設備の自主点検なども適切に実施し、利用者が安全に利用できるよう努めている。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	*バリアフリー面の課題について、引続き館内案内表示・利用者動線の見直しや窓口における個別対応の強化など、ソフト面での改善に取り組んでいただきたい。 *改築工事の設計にあたっては、施設構造上の課題解決に向けて、現場目線・利用者目線で市に協力いただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.28 ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス
施設主管課(最終一次評価者)	教育部 生涯学習スポーツ課
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 94.1
	※今年度のモニタリング調査ではアンケート実施場所を変更したことで、回答者の属性が大きく変わっている。男性の回答が半数以上であったこと、また10～30代が主な回答者(47.9%)だったこともあり、単純に数値だけの前年度との比較は難しい。 しかし、そのような状況でも来館者の総合満足度は2ポイントを上昇しており、どの年代からも高評価を受けていることが伺える。 ※前年度は男性の回答率46.6%、40～50代の回答は48%
施設利用状況	○年間来館者数 (単位:人)
	令和7年度 令和6年度 増減数 増減率
	1,724,001 1,691,328 32,673 1.93%
	○図書資料状況
	令和7年度 令和6年度 増減数
	貸出件数(件) 895,460 918,261 -22,801
	蔵書冊数(冊) 186,303 191,015 -4,712
	【図書・雑誌】
	○利用状況
	対前年度比
利用率 増減	
フォーラム 1,223 1,848 66.2% 65.4% 0.8	
ギャラリー 619 924 67.0% 65.8% 1.2	
スペースA 834 924 90.3% 87.0% 3.3	
スペースB 777 924 84.1% 85.1% -1	
スペースC 801 924 86.7% 65.6% 21.1	
スペースD 614 924 66.5% 73.7% -7.2	
スペースE 582 924 63.0% 67.8% -4.8	
サウンドスタジオA 1,157 1,540 75.1% 60.9% 14.2	
サウンドスタジオB 937 1,540 60.8% 44.9% 15.9	
パフォーマンススタジオ 1,232 1,540 80.0% 63.7% 16.3	
クラフトスタジオ 458 1,540 29.7% 26.9% 2.8	

一次評価

一次評価結果	指定管理者	76.8/ 98	主管課	74.4/ 98
アピール点	※遊休施設の有効利用という視点で取り組んだ「スペースCの自習室開放」では利用率21.1ポイントの上昇、青少年からの要望をくみ取りサウンドスタジオを利用するための最初の講習会を増設したことで平均15ポイントの上昇、と職員の積極的な取り組みで稼働率の向上を図れた。 ※小学校のゲストティーチャーでは従前からの館長の派遣に加えて職員も出向き直接小学生に公共施設の役割をレクチャーした。職員が出向くことでより身近な公共施設として地域住民と繋がりを持てた。 ※小学校主催のフェスティバルとしては3年目となる境南小学校では、プレイスブースに例年の展示だけではなく、プレイスのマスコットキャラクター「まめいす」の塗り絵コーナーを展開した。子どもの作品はプレイスの玄関に10日間程度展示し、プレイスに足を向けるきっかけを作った。また令和7年度は新たに第二小学校の「ニコフェス」へも協力し、館内を回遊するポイントを提供するなど、地域との関係性を更に深めることができた。 ※「利用者の声」にあった4Fテラスの通年開放を実施し、季節を問わず利用していただいた。飲食可能スペースを増やすことにも繋がり、個人利用、グループ利用の双方の利用が増加した。 ※酷暑対策として、屋外となる駐輪場に10月末まで毎日扇風機を設置し、駐輪待機列に並ぶ利用者への環境改善に努めた。			
前年度改善・要望事項への対応	主な事項 ※引き続き利用者の声を反映した運営を行っていただきたい。		主な対応 ※スペースCとギャラリーの自習室開放について、「利用者の声」や窓口での「できるだけ早めに知りたい」との要望を受け、毎月、開放予定をウェブサイトで公開できるようにルール化した。 ※駐輪場の2段ラックが非常に重たい、ラックが固いと意見があり、例年の修繕に加え全面保守を実施した。摩耗、劣化による消耗品等の入れ替えを行うことで利用者が操作しやすくなり、怪我の防止に繋がった。 ※青少年フロアではサウンドスタジオを利用したいとの声が増え、初回講習会を事業計画で予定した回数よりも増やし開催した。参加する機会を増やすことで利用しやすくなり、結果的に施設稼働率の前年度比15ポイント向上に繋がった。 ※引き続き利用者の声を反映した運営を行うよう、定例の会議等で伝達した。	

評価すべき点	*スペースCの自習室開放については、設置目的の達成や利用者増、効率的な運営と多岐にわたり高い効果をもたらしている取組みである。 *駐輪場におけるラックの保守や酷暑対策の扇風機設置をはじめ、利用者目線に立った不断の改善が行われている点は評価できる。
--------	---

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	A (期待以上の優れた成果をあげている。)	A	S
総括	*スペースCの自習室開放による利用率の向上やサウンドスタジオ利用に関する初回講習会の予定数以上の開催による利用率の向上等、利用者の声やニーズを捉えた職員の積極的な取組みの成果として評価できる。 *図書館機能を中心に生涯学習支援、市民活動支援、青少年活動支援の4機能を併せ持つ複合施設としての活動に加え、緊急時における対応も含め、地域との交流にも積極的に取り組む等、市民の多様な活動及び学習の場の創出という設置目的の達成に資する施設として評価できる。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取組みが望まれる事項)	*今後も引き続き、新たな文化創造拠点として、利用者満足度の向上に努めていただきたい。 *施設特性上利用が想定される世代からまんべんなくアンケート回答が得られるよう工夫をしていただきたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果

公の施設名	No.29 武蔵野市立吉祥寺図書館																																
施設主管課(最終一次評価者)	教育部 図書館																																
指定管理者の名称	公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団																																
利用者満足度	利用者アンケートの総合満足度 87.9																																
	＊「満足」と「概ね満足」の合計は、令和6年度より3.9ポイント下がったものの、89.7％と高い水準で満足度を得ている。																																
	＊「職員の対応」「建物・設備・備品の管理」の満足度は高い。																																
	＊「図書の蔵書数、種類」ではやや不満が12.6％と満足度が低い。アンケート回答にご意見が寄せられている。施設規模の制約があり、蔵書数を増やすことは困難である。資料の種類については、来街者を含む幅広い層に対応できるよう特色を持たせ資料収集を継続して取り組むとともに、所蔵していない資料については予約を促すことで蔵書数の少なさを補う取組みを続けている。																																
施設利用状況	○来館者数 <table><tr><th></th><th>令和7年度</th><th>令和6年度</th><th>前年度比較</th></tr><tr><td>開館日数(日)</td><td>300</td><td>303</td><td>-3</td></tr><tr><td>来館者数(人)</td><td>540,819</td><td>545,662</td><td>-4,843</td></tr><tr><td>1日平均来館者数(人)</td><td>1,803</td><td>1,801</td><td>2</td></tr></table> ○図書資料状況 <table><tr><th></th><th>令和7年度</th><th>令和6年度</th><th>増減数</th></tr><tr><td>貸出件数(件)</td><td>498,824</td><td>525,053</td><td>-26,229</td></tr><tr><td>蔵書冊数(冊)</td><td>107,116</td><td>106,801</td><td>315</td></tr><tr><td>【図書・雑誌】</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		令和7年度	令和6年度	前年度比較	開館日数(日)	300	303	-3	来館者数(人)	540,819	545,662	-4,843	1日平均来館者数(人)	1,803	1,801	2		令和7年度	令和6年度	増減数	貸出件数(件)	498,824	525,053	-26,229	蔵書冊数(冊)	107,116	106,801	315	【図書・雑誌】			
	令和7年度	令和6年度	前年度比較																														
開館日数(日)	300	303	-3																														
来館者数(人)	540,819	545,662	-4,843																														
1日平均来館者数(人)	1,803	1,801	2																														
	令和7年度	令和6年度	増減数																														
貸出件数(件)	498,824	525,053	-26,229																														
蔵書冊数(冊)	107,116	106,801	315																														
【図書・雑誌】																																	

一次評価

一次評価結果	指定管理者	74.4/ 98	主管課	72.0/ 98
アピール点	※吉祥寺活性化協議会への参加、意見交換で得られた情報を、吉祥寺図書館運営の特色に活かすとともに、以前から要望の多かった図書館における地域情報発信に向けてチラシラックを継続的に設置した。この取り組みは、市民・来街者への吉祥寺の情報発信の強化・充実の一助となり、これまで以上に吉祥寺のまちとの連携が強まっている。また(一社)武蔵野市観光機構との情報交換により、「吉祥寺国際 アニメーション映画祭」をはじめとするイベントに連携して展示等を計画的・継続的に実施している。 ※吉祥寺美術館や吉祥寺シアターとの連携図書展示やスタンプラリーの拠点になるなど、地域の文化活動を盛り上げる取組みを行った。また武蔵野プレイス生涯学習支援の事業と連携した図書展示を実施している。 ※0123はらっぱからの依頼による出張おはなし会を継続して実施するほか、乳幼児とその保護者の交流を目的に行う「あかちゃんオアシス」を実施し、職員も参加することで読書相談や利用者の生の意見に触れる機会となっている。 ※中高生世代の対象講座事業を継続して行っている。「図書館の裏側、司書体験」を企画実施した。特に情報を得られやすよう、X(旧Twitter)を活用した「YA(ヤングアダルト)担当のひとりごと」を定期配信し来館につなげる取組みを行っている。 ※吉祥寺活性化協議会で実施するイベント「吉祥寺音楽祭」に併せ関連図書展示を復活実施した。 ※一般イベントでは、本屋ライターの和氣 正幸氏をお招きし、著書『改訂新版 東京 わざわざ行きたい街の本屋さん』をもとに、独立書店が増えている背景や掲載されている吉祥寺所在の個人書店(おすすめルート)を紹介と関連図書展示を行った。イベント期間に合わせて実施された24日間35冊の関連図書展示は、計47回貸出されるなど好評で、利用者の興味関心に繋がった事が伺える。 ※事業団内連携として、プレイスの市民活動団体紹介展の巡回展の会場として、きちとしよトピックスを活用した。また、野外活動のイベント情報と併せて、きちとしよトピック展示棚に、自然観察や登山、キャンプや釣り、といったアウトドアに関する関連本を選定し広報物と一緒に関連本を展示した。 ※中高生世代を対象のイベントには、SNSを積極的に活用するとともに、申し込みはメールフォームで申し込みができるようにした。			

	主な事項	主な対応
前年度改善・要望事項への対応	* 図書館として取り組める中高生世代の居場所の提供を引き続き充実されたい。	* 「YA担当のひとりごと」の取り組みでは、青少年の知的好奇心を刺激する機会の提供として、SNS(X)を活用し、YA担当が毎月おすすめの本を紹介した。 * YAトピックスの取り組みでは、青少年への興味関心を広げることを目的に、年3期、様々なテーマで図書展示を行った。1月に行ったYAトピックスでは、「YA担当のひとりごと」の発信で1年間紹介してきた本84冊を展示したところ、27日間で96回貸出があった。 * きちとしょテーマ展示では、図書館の力を地域に活かす取り組みとして、職員嘱託職員がチームになり、興味関心を広げるようなさまざまなテーマで選書した本の展示を積極的に実施している。 * 事業の申し込み方法の工夫として、YAイベントの申し込み専用メールアドレスを設定した。
評価すべき点	* 中高生世代の居場所の提供として、ハード面では吉祥寺図書館内の自習スペース、ソフト面では興味関心を持っていただける資料、イベントの充実があり、両面において取り組みを充実させている。 * 中高生に対しては、ただ環境を整備するだけでなく、ターゲット層に響く情報発信が重要である。対象の興味関心に引っかかるようにするという点での広報面の課題を認識し、創意工夫を行っている。 * マーケティング戦略として、新規層に刺さるキャッチーさと、既存利用者によるリツイート等の情報発信を期待し、SNSによる情報発信に力を入れている。 * タイムパフォーマンスを重要視するYA世代の傾向を鑑み、イベントの申込専用メールアドレスを設置している。	

二次評価

評価対象年度	今回(令和7年度)	(令和6年度)	(令和5年度)
総合評価※	A (期待以上の優れた成果をあげている。)	S	A
総括	* 吉祥寺エリアという特徴を踏まえた地域の情報拠点としての理念に基づき、地域団体等と連携したイベントや情報発信に積極的に取り組んでいる。 * 吉祥寺エリアにおける課題の一つである中高生世代の居場所の提供に対しても、世代の特徴を把握し、世代にあった情報発信や取り組みを実施している。 * 複数施設を管理運営している指定管理者としての強みを生かし、他施設と連携したイベント実施等にも取り組んでいる。		
その他改善・要望事項 (改善すべき事項やさらなる取り組みが望まれる事項)	* 中高生世代を対象にした取り組みを引き続き実施するとともに、より幅広い世代へのアプローチにも努め、その取り組みを広く周知する方法についても検討されたい。		

※令和7年度から新たな指定管理期間が開始。新たな評価基準となっている。

令和８年度 武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果報告書

令和８年７月

武蔵野市 総合政策部 企画調整課
東京都武蔵野市緑町２-２-28
電話番号 : 0422-60-1801
ファクス番号 : 0422-51-5638